【第67年会講演プログラム】

1. この講演プログラムは8月20日現在のものです。
2. 口頭発表の講演時間は，一般講演15分（講演12分，討論3分），テクノレビュー講演：1件30分（講演25分，討論5分）です。すべてのポスター発表の発表時間は90分です。特別シンポジウム講演及び依頼講演の講演時間は原則として1件30分（講演25分，討論5分）ですが，講演により異なります。
3. 講演の発表者（登壇者）に○印を付けています。
4. 講演番号の最初のアルファベットは会場名，次の「1」～「3」は第何日かを示します。口頭発表の場合，最後の3桁が会場の日にちごとの講演順の番号になっています。

たとえば，「C1030」は，C会場第1日目（9月12日）の30番目の講演，とお考えください。

5. 特別シンポジウム講演の末尾には「S」を，依頼講演の末尾には「R」を，テクノレビュー講演の末尾には「T」付けています。
6. ポスター発表の場合には，一般講演ポスター発表（テクノレビュー講演を含む）は「P」，若手ポスター発表は「Y」と明記しています。なお，一般ポスター，若手ポスターとも会場は同じです。
7. 受賞講演，研究懇談会講演の名称は一部省略して掲載しています。ご了承ください。
8. A会場の産業界シンポジウム（9月14日午前）は一般公開です。
9. 第4回アジア分析科学シンポジウムのプログラムは別記を参照ください。
10. 本講演プログラムは講演申込者がオンライン登録したデータをそのまま掲載していますが，所属略称等は一部修正している場合があります。
11. 座長は交渉中を含みます。
12. 実行委員会の都合により講演プログラムを当日変更する場合もあります。

【 A 会 場 】

第1日（9月12日）

座長　西澤　精一

【特別シンポジウム講演】 A1001S（9：35～10：05）化学を武器に分析を越えた先にある医療技術の実現を図る（東大院薬・医）○浦野 泰照

【特別シンポジウム講演】 A1002S（10：05～10：35）光でタンパク質を操作し観察する細胞解析技術—オプトバイオアナリシス—（東大院理）○小澤 岳昌

［PC設定時間］

座長　火原　彰秀

【特別シンポジウム講演】 A1003S（10：50～11：20）分析化学を考える：工学的なアプローチから（北大院工）○渡慶次 学

【特別シンポジウム講演】 A1004S（11：20～11：50）赤外分光法の第二黎明期：有機薄膜構造解析は分光分析の最高の舞台（京大化研）○長谷川 健

座長　渡慶次　学

【特別シンポジウム講演】 A1005S（13：00 ～ 13：30）Fluorescence polarization immunoassays for detection of beta-agonists（MSU）○Sergei Eremin

【特別シンポジウム講演】 A1006S（13：30～14：00）均相系測定を可能にする抗原応答性標識抗体の創製（東工大化生研）○上田 宏・大室 有紀・北口 哲也

【特別シンポジウム講演】 A1007S（14：00～14：30）個別化医療実現のための超高感度免疫検査技術の開発（シスメックス）○白井 健太郎・赤間 健司・渡辺 敏弘・鈴木 誓吾

［PC設定時間］

【特別シンポジウム講演】 A1008S（14：45～15：15）新世代の高性能イムノアッセイを目指す「抗体育種」（神戸薬大）○小林 典裕・大山 浩之・森田 いずみ・木口 裕貴

座長　火原　彰秀

【特別シンポジウム講演】 A1009S（15：15～15：45）高感度・簡便・迅速に検査可能な銀増幅イムノクロマト法の開発（富士フイルム医薬品ヘルスケア研）○片田 順一・和田 淳彦

【特別シンポジウム講演】 A1010S（15：45～16：15）オンサイト蛍光偏光イムノアッセイ装置の開発（Tianma Japan[1]・北大[2]・東北大[3]）○重村 幸治[1]・住吉 研[1]・佐藤 憲[1]・溝口 親明[1]・若尾 摂[2]・中村 彩乃[2]・黒澤 文夫[3]・火原 彰秀[3]・渡慶次 学[2]

［PC設定時間］

【特別シンポジウム講演】 A1011S（16：30～17：00）イムノアッセイによる遺伝子変異型タンパク質の特異的検出と、精密医療への応用（東大院工）○笠間 敏博

【特別シンポジウム講演】 A1012S（17：00～17：30）より良い診断のための次世代イムノアッセイ開発への挑戦（富士レビオ）○小島 哲・森山 和重・青柳 克己

第2日（9月13日）

座長　鄭　建

【特別シンポジウム講演】 A2001S（9：00～9：30）レーザーを利用した核種分析手法の開発（東大院工）○長谷川 秀一

【特別シンポジウム講演】 A2002S（9：30～10：00）マイクロ核種分析システムの創成（東工大先導原研）○塚原 剛彦

［PC設定時間］

座長　宗林　由樹

【特別シンポジウム講演】 A2003S（10：10～10：40）福島原発事故由来放射性セシウムの海洋環境における沿岸から北太平洋までの長期広域挙動の研究（福島大環境放射能研）○青山 道夫

［PC設定時間］

座長　高貝　慶隆

【特別シンポジウム講演】 A2004S（10：50～11：20）福島第一原子力発電所における廃炉・汚染水対策の現状と今後の課題（東京電力）○増田 尚宏

【特別シンポジウム講演】 A2005S（11：20～11：50）宇宙線ミュオンを使った原子炉の透視（KEK）○高崎 史彦

第3日（9月14日）

座長　鈴木　真由美

【産業界シンポジウム講演】 A3001S（9：00～10：00）データ駆動的アプローチに基づく分析化学への展開（産総研）○永田 賢二

【産業界シンポジウム講演】 A3002S（10：00～10：30）化学産業とMI（旭化成MI推進部）○河野 禎市郎

座長　加藤　雄一

【産業界シンポジウム講演】 A3003S（10：30～11：00）ヘルスケア分野における分析データへのAI活用（島津）○梶原 茂樹

【産業界シンポジウム講演】A3004S（11：00～11：30）アミノ酸との相互作用マッピング（AAM）記述子に基づいたヒット/リード化合物の骨格改変法の開発（富士フイルム）○津村 享佑

【産業界シンポジウム講演】A3005S（11：30～12：00）機械学習を応用した金属合金の特徴量抽出および材料特性との相関モデル化（日立製作所エレクトロニクスイノベーションセ[1]・日立製作所ナノプロセス研究部[2]）○谷本 明佳[1]・Thantip Krasienapibal[2]・圓山 百代[2]・白崎 保宏[2]

座長　片山　建二

【特別シンポジウム講演】A3006S（13：05～13：35）生細胞ラマン分光測定から非標識で多数の分子分布画像を抽出（早大）○安藤 正浩

【特別シンポジウム講演】A3007S（13：35～14：05）タンパク質試料に符号化したアミノ酸情報のNMRスペクトルからの抽出（理研生命機能セ[1]・JSTさきがけ[2]）○葛西 卓磨[1,2]

座長　葛西　卓磨

【特別シンポジウム講演】A3008S（14：05～14：35）ベイズ推論に基づくスペクトルデータからの情報抽出（産総研）○永田賢二

【特別シンポジウム講演】A3009S（14：35～15：05）EPMA化学組成データからの岩石プロセス情報抽出（JAMSTEC）○桑谷立

座長　桑谷　立

【特別シンポジウム講演】A3010S（15：05～15：35）少ないX線回折データから結晶構造の“乱れ”や“ゆらぎ”の情報を抽出（JSTさきがけ）○星野 学

【特別シンポジウム講演】A3011S（15：35～16：05）コヒーレント軟X線回折イメージングデータからの磁気構造の情報抽出（物材機構）○山崎 裕一

【 B 会 場 】

第1日（9月12日）

座長　上本　道久

B1001（9：30～9：45）ICP－MS（／MS）における水素リアクションによるスペクトル干渉除去（アジレント[1]・産総研物質計測標準[2]）○中野 かずみ[1]・朱 彦北[2]・鹿籠 康行[1]

B1002（9：45～10：00）多重検出器型ICP質量分析計によるナノ粒子の元素・同位体分析（東大院理[1]・TDK[2]）○山下 修司[1]・石田 未来[2]・鈴木 敏弘[1]・關根 理沙子[2]・平田 岳史[1]

B1003（10：00～10：15）ICP-MSのリアクションセル内における希土類元素と各種ガスとの反応特性（産総研物質計測標準[1]・アジレント[2]）○朱 彦北[1]・中野 かずみ[2]・鹿籠 康行[2]

B1004（10：15～10：30）反応セル型ICP-MSにおける反応時間制御の試み（アジレントテクノロジーインターナショナル）○山田 憲幸・清水 絵里奈

［PC設定時間］

座長　小熊　幸一

B1006（10：55～11：10）トリプル四重極ICP-MSのNH_3モードにおける^{52}Cr分析時のセル内干渉イオン生成機構と対策（アジレント[1]・アジレントインターナショナル[2]）○溝渕 勝男[1]・山田 憲幸[2]・桑原 健雄[2]・行成 雅一[1]

【技術功績賞講演】B1007（11：10～11：40）微量不純物分析による物的証拠の異同識別（科警研）○鈴木 康弘

座長　鈴木　康弘

B1008（13：00～13：15）ナノサンプラー捕集による大気粉塵（PM0.1）の元素濃度から推定される発生源の解明（中央大院理工）○金子 公洋・池田 智洋・古田 直紀

B1009（13：15～13：30）IC/LC-ICPMSを用いたシロイヌナズナにおけるヨウ素の取り込み過程の解明（中央大院理工[1]・広島大院生物圏[2]）○石井 暁[1]・西田 翔[2]・池田 智洋[1]・古田 直紀[1]

B1010（13：30～13：45）2液同時噴霧型グリッドネブライザー/ICP-OESによるバイオディーゼル燃料中微量元素の定量（東京電機大 院工[1]・産総研 物質計測標準[2]）○井戸 航洋[1,2]・朱 彦北[2]・有賀 智子[2]・藤井 紳一郎[2]・宮下 振一[2]・保倉 明子[1]・稲垣 和三[1,2]

B1011（13：45～14：00）プラズマトーチ組み込み型直接試料導入ネブライザーの設計開発（産総研）○宮下 振一・藤井 紳一郎・稲垣 和三

［PC設定時間］

座長　古田　直紀

B1012（14：10～14：25）ホットプラズマICP-MSにおける高濃度の酸マトリックスの影響調査（三菱マテリアル）○河野 利哉・Shabani, Mohammad

B1013（14：25 ～ 14：40）Ultra-sensitive determination of Pu isotopes in environmental samples by ICP-MS/MS with a high efficiency sample introduction system（NIRS, Japan[1]・Agilent, Japan[2]・Univ South China[3]）○Jian Zheng[1]・Yasuyuki Shikamori[2]・Hai Wang[3]・Youyi Ni[1]・Zhaoya Huang[1]・Tatsuo Aono[1]

B1014（14：40～14：55）ICP-MSMS によるカルシウム、硫黄、リン　マトリクス中の微量チタンの分析（アジレントテクノロジー）○杉山 尚樹

B1015（14：55～15：10）高濃度の種々の酸の存在下でのクールプラズマ及びホットプラズマICP-MSにおける減感メカニズムの比較（三菱マテリアル中央研）○Shabani, Mohammad

［PC設定時間］

座長　佐藤　健二

B1016（15：20～15：35）レーザーアブレーションICP質量分析法による高機能マグネシウム合金中微量元素の分布（明星大院理工[1]・アジレントインターナショナル[2]）○上本 道久[1]・杉山尚樹[2]

B1017（15：35～15：50）LA-ICP質量分析法による微量元素とナノ粒子の同時イメージング（東大理）○平田 岳史・山下 修司・菊地 悠・鈴木 敏弘

B1018R（15：50～16：20）安定同位体メタロミクス：精密同位体分析に基づく元素代謝指標（千葉大薬[1]・東海大医[2]・東大理[3]）○田中 佑樹[1]・小椋 康光[1]・大和 英之[2]・平田 岳史[3]

［PC設定時間］

座長　平田　岳史

B1019（16：30 ～ 16：45）Simultaneous determination of ultra-trace level 237Np and Pu isotopes in soil/sediment samples by sector-field ICP-MS with a single-column chromatographic separation（NIRS, QST[1]・Peking Univ[2]・Univ South China[3]・Tsukuba Univ[4]）Zhaoya Huang[1]・Youyi Ni[1,2]・Hai Wang[3]・○Jian Zheng[1]・Shigeo Uchida[1]・Aya Sakaguchi[4]

B1020（16：45～17：00）磁気固相抽出前濃縮を併用した電気加熱原子吸光分析法による環境水中Rhの定量（三重大院工[1]・三重大国際環境教育研究セ[2]）○倉田 りさ子[1]・古川 真衣[1]・立石 一希[2]・勝又 英之[1]・金子 聡[1,2]

B1021（17：00～17：15）キレート固相抽出法による3価・6価クロム分別原子吸光分析（日立ハイテクサイエンス）○山本 和子・坂元 秀之・白崎 俊浩

B1022（17：15～17：30）硝酸-フッ化水素酸系分解酸を用いたチタン合金中ルテニウムの迅速ICP発光分光分析（日鉄住金テクノロジー）○成田 智也・森本 雅之・蔵保 浩文

第2日（9月13日）

座長　上條　利夫

【特別シンポジウム講演】B2001S（9：00～9：30）界面およびナノ閉じ込め液体の先端計測による評価（東北大多元研）○水上 雅史

【特別シンポジウム講演】B2002S（9：30～10：00）潤滑剤のrational designを実現するためのナノ界面分析（出光興産）○田村 和志

座長　水上　雅史

【特別シンポジウム講演】B2003S（10：00～10：35）閉じ込め液体の分子動力学シミュレーション（慶大理工）○泰岡 顕治

【特別シンポジウム講演】B2004S（10：45～11：15）摩擦界面における化学反応ダイナミクスのマルチフィジックスシミュレーション（東北大金研）○久保 百司

座長　渋屋　裕太

【特別シンポジウム講演】B2005S（11：15～11：45）小角中性子散乱と熱分析を利用したナノ空間内タンパク質の構造評価（茨城大理）○山口 央

【特別シンポジウム講演】B2006S（11：45～12：15）界面と閉じ込め液体の特性評価に基づく超低摩擦システムの創成（東北大）○足立 幸志

第3日（9月14日）

座長　津越　敬寿

【スクリーニング分析研究懇談会】B3001（10：45～11：45）サイレントチェンジと疑われる分析事例の紹介と品質管理による未然防止策（化学研究評価機構）○嶋田 剛志

座長　味戸　克裕

【特別シンポジウム講演】B3002S（13：00～13：30）物質・材料表面における水の選択的「その場」計測に向けて－東京理科大ウォーターフロンティアサイエンス＆テクノロジー研究センターの試み－（東理大理）○由井 宏治

【特別シンポジウム講演】B3003S（13：30～14：00）生体脂質凝集系とタンパク質の水和，構造，安定性：放射光X線の中性子線の相補利用よる評価と今後の展望（群大院理工）○平井 光博

【特別シンポジウム講演】B3004S（14：00～14：30）分子シミュレーションによる燃料電池内部の水和状態と物質輸送特性の相関の解析（東北大流体研）○徳増 崇・馬渕 拓哉

［PC設定時間］

座長　由井　宏治

【特別シンポジウム講演】B3005S（14：45～15：15）無極性カーボンナノチューブにおける水和・内包水の計測と低次元水の科学（東理大理）○本間 芳和

【特別シンポジウム講演】B3006S（15：15～15：45）テラヘルツ時間領域分光法の水-アルコール混合液の薄膜流への応用（FDI[1]・サントリーMONOZUKURI[2]）○上田 剛慈[1]・指宿 大悟[2]・奥野 雅史[1]・渡部 明[1]

【特別シンポジウム講演】B3007S（15：45～16：15）IoT分野に向けた糖類や医薬分子の水和に関する広帯域誘電緩和とテラヘルツスペクトル解析（NTT先端研）○味戸 克裕

【 C 会 場 】

第1日（9月12日）

座長　遠田　浩司

C1001（9：30～9：45）アニオンに応答する近赤外吸収色素の認識機能評価（豊橋技科大電気電子情報工[1]・豊橋技科大教研基セ[2]・豊橋技科大環境生命工[3]）○高橋 拓巳[1]・加藤 亮[2]・服部 敏明[1]・Chua, Hao Wei[3]・岩佐 精二[3]

C1002（9：45～10：00）円筒型グラフェンアプタセンサを用いた3次元タンパク質検出（NTT物性基礎研[1]・エジンバラ大[2]）○上野 祐子[1]・手島 哲彦[1]・Calum Henderson[1,2]・中島 寛[1]

C1003（10：00～10：15）濃度勾配形成マイクロ流体デバイスを用いるコラーゲン分解酵素活性評価システムの開発（東京薬大薬）○森岡 和大・中野 沙紀・柳田 顕郎・東海林 敦

［PC設定時間］

座長　東海林　敦

C1004（10：25～10：40）Au-Pd合金の水素センサへの応用（横国大院理工）○黒津 拓馬・山作 直貴・岡崎 慎司・荒川 太郎・西島 喜明

C1005（10：40～10：55）酵素と近赤外吸収色素に基づくグルコースセンシングビーズの開発（富山大院理工）○鷹羽 佑太・菅野 憲・遠田 浩司

C1006（10：55～11：10）光リセット能を有するオプティカルグルコースセンサーの開発（富山大院理工）○小竹 俊哉・津田 翔平・菅野 憲・遠田 浩司

［PC設定時間］

座長　久本　秀明

【化学センサー研究懇談会】C1007（11：20～11：50）電気化学的テロメラーゼアッセイ法の確立とそれによる口腔疾病スクリーニング（九工大院工[1]・九工大RCBT[2]・九歯大[3]）○佐藤 しのぶ[1,2]・早川 真奈[3]・冨永 和宏[3]・竹中 繁織[1,2]

座長　加藤　亮

C1008（13：00～13：15）硝酸イオンセンサの構築と応答特性（京大院農）中尾 英策・○白井 理・北隅 優希・加納 健司

C1009（13：15～13：30）コバルトおよびモリブデンを基盤電極とするリン酸センサの開発と設計（京大院農）○徐 克彬・北隅 優希・加納 健司・白井 理

C1010R（13：30～14：00）生体試料の測定を目指した生体適合性材料を用いるイオンセンサーの開発（和歌山大システム工）○矢嶋 摂子

［PC設定時間］

座長　加納　健司

C1011（14：10～14：25）テトラゾリウム塩を用いた細菌の電気化学的検出（阪府大院工）○石木 健吾・森下 綾・椎木 弘・長岡 勉

C1012（14:25～14:40）スルホベタイン誘導体化学修飾ポリ塩化ビニルを膜材料とするイオンセンサーのアルキル鎖長がセンサー性能へ及ぼす影響（和歌山大システム工[1]・埼玉工大[2]）○澁谷 薫[1]・田中 睦生[2]・矢嶋 摂子[1]

C1013（14:40～14:55）糖尿病の揮発性バイオマーカー：呼気アセトンのための高感度バイオスニファと生体計測応用（医科歯科大生材研[1]・医科歯科大院医歯[2]・関大化学生命工[3]・九大院医[4]）○三林 浩二[1,2]・叶 明[2]・簡 伯任[2]・南 勲[2]・戸田 花奈子[2]・當麻 浩司[1]・荒川 貴博[1]・岩崎 泰彦[3]・品田 佳世子[2]・小川 佳宏[2,4]

［PC設定時間］

座長　福原　学

C1014R（15:05～15:35）低侵襲持続血糖測定システム構築のためのオプティカル糖センサーの開発（富山大院理工）○遠田 浩司

C1015（15:35～15:50）飲料水中のカルシウムイオン比色分析に向けた距離検出型ペーパーチップ（慶大院理工）○柴田 寛之・蛭田 勇樹・Daniel Citterio

C1016（15:50～16:05）超音波法を用いて調製した機能性金ナノ微粒子によるネライストキシン農薬成分の高感度比色分析（信州大理）○等々力 深雪・山本 直人・金 継業・髙橋 史樹

［PC設定時間］

座長　矢嶋　摂子

C1017（16:15～16:30）金ナノ粒子/セルロースナノファイバ複合膜を用いたセンサ電極の開発（阪府大院工）○齊藤 真希・富山 智大・小西 輝・椎木 弘

C1018（16:30～16:45）単一の巨大一枚膜リポソームに包埋されたチャネルを利用するイムノアッセイ法（東京薬大薬[1]・日大院総合基礎[2]）○東海林 敦[1]・新田 雅貴[2]・菅原 正雄[2]

C1019（16:45～17:00）テトラフェニルエチレン修飾カードランセンサーを用いる水溶液中でのオリゴ糖分析（阪大院工[1]・京都府大[2]・ビクトリア大[3]・東工大理[4]・JSTさきがけ[5]）黒原 大輝[1]・沼田 宗典[2]・Cornelia Bohne[3]・井上 佳久[1]・○福原 学[4,5]

第2日（9月13日）

座長　上野　祐子

C2001（9:00～9:15）Shape memory characteristics of copolymer-encapsulated gold nanoparticles for bacterial sensing（阪府大院工）○NGUYEN, QUANG DUNG・岩本 晃太・木下 隆将・椎木 弘

C2002（9:15～9:30）ポリアミド系高分子ナノファイバーの作製と一酸化炭素ガス吸着特性評価（豊橋技科大電気電子情報工[1]・豊橋技科大教研基セ[2]）○杉原 啓介[1]・加藤 亮[2]・服部 敏明[1]

C2003（9:30～9:45）尿タンパクセンサ開発に向けたタンパク分解のためのプロテアーゼ種の検討（東北大環境科学）○三浦 翼・井上（安田）久美・末永 智一

［PC設定時間］

座長　吉村　和久

C2004（9:55～10:10）化学物質暴露解析モデルを用いた常呂川水系大腸菌流下モデルの構築と支流域別汚濁負荷の推計（北見工大）○宇都 正幸・工藤 祥久・齋藤 剣

C2005（10:10～10:25）若狭湾における夏季の気温とシリカの回復（東京海洋大院[1]・理研[2]・福井水産試験場[3]・福井県庁[4]）○田中 美穂[1]・岡部 駿也[1]・小川 祥平[1]・高橋 和也[2]・山下 慎也[3]・鮎川 航太[3,4]

C2006（10:25～10:40）ICP質量分析計を接続した連続融解分析装置による雪氷コアの分析（国立極地研[1]・総研大[2]・アジレント[3]）○平林 幹啓[1]・尾形 純[1]・東 久美子[1,2]・鹿籠 康行[3]

C2007（10:40～10:55）南極氷床コアの詳細解析を見据えた硫黄同位体比分析の高感度化の試み（理研[1]・ジャスコ[2]・環境科学技術研[3]・東京海洋大院[4]・国立極地研[5]）○高橋 和也[1]・中井 陽一[1]・望月 優子[1]・井野 敏行[2]・伊東 茂[2]・大久保 智[2]・高久 雄一[3]・山口 義尊[4]・田中 美穂[4]・本山 秀明[5]

C2008R（10:55～11:25）宇宙・地球化学における中性子放射化分析の重要性（早大教育総合科学学術院）○海老原 充

第3日（9月14日）

座長　宇都　正幸

C3001（9:30～9:45）海水浸漬による鉄施肥材中の堆肥フミン酸の構造変化（阪府大院工[1]・東大院大気海洋[2]・東大院総文[3]・有明高専[4]）○岩井 久典[1]・山本 光夫[2]・松尾 基之[3]・劉 丹[4]

C3002（9:45～10:00）北海道増毛の沿岸海水の溶存鉄スペシエーション（九大RIセンター[1]・新日鐵住金[2]）○吉村 和久[1]・加藤 俊朗[2]

C3003（10:00～10:15）博多湾海水の溶存鉄のスペシエーションと生物との関わり（九大RIセンター[1]・九州環境管理協会[2]）○吉村 和久[1]・天日 美薫[2]・道山 晶子[2]・後藤 祐哉[2]・時枝 琢[2]

C3004（10:15～10:30）イカ体内の有害元素の定量と海水からの影響（東京海洋大院[1]・環境科学技術研[2]・理研[3]）○山口 義尊[1]・原田 葉乃[1]・土屋 光太郎[1]・高久 雄一[2]・高橋 和也[3]・田中 美穂[1]

C3005（10:30～10:45）LA-ICP-MS法によるヨシキリザメの脊椎の微量元素分析の試み（東京海洋大院）○風間 仁美・根本 雅生・Yu vin Sahoo・田中 美穂

【 D 会 場 】

第1日（9月12日）

座長　吉田　裕美

D1001（9:30～9:45）グラフェンエッジにおける電気化学活性のナノスケール電気化学イメージング（東北大AIMR[1]・東北大院環境[2]・金沢大WPI-NanoLSI[3]・JSTさきがけ[4]）○熊谷 明哉[1,2]・三浦 千穂[2]・高橋 康史[3,4]・井田 大貴[2]・珠玖 仁[2]・末永 智一[2]

D1002（9:45～10:00）氷マイクロチャネルを利用した氷表面へのイオン吸着挙動の解明（東工大理学院[1]・東北大多元研[2]）○稲川 有徳[1]・福山 真央[2]・火原 彰秀[2]・原田 誠[1]・岡田 哲男[1]

D1003（10:00～10:15）磁性ナノ粒子分散液の界面反射光強度に及ぼす磁気効果（阪大INSD）○渡會 仁・Zhijin Chen・Ting Hui Yu

D1004（10:15～10:30）細胞膜の動的粘弾性計測の高速化のためのフーリエ変換型レーザー誘起表面変位顕微鏡の開発（東理大理）○坂東 龍・森作 俊紀・伴野 元洋・由井 宏治

［PC設定時間］

座長　塚原　聡

【溶液界面研究懇談会】D1005（10:40～11:10）キレートの液液分配特性と協同効果の発現（金沢大院自然）○井村 久則

［PC設定時間］

【溶液界面研究懇談会】 D1006（11:20～11:40）非線形振動分光法により固液界面における分子構造の解析（東北大院理）○叶 深

座長　伴野　元洋

D1007（13:00～13:15）よろず相談「分析NEXT」：中小企業等の支援による産学官共創に向けた取り組み（九州先端研）○山田 淳・吉原 大輔・一丸 恵子・王 胖胖・山本 竜広・川畑 明

D1008（13:15～13:30）シリカメソ細孔内ブルー銅タンパク質反応中心の構造に及ぼす空間サイズの影響（茨城大理）○枝並 友梨絵・渋屋 祐太・山口 央

D1009（13:30～13:45）弱高分子電解質を用いた発光性金クラスターの合成と金属イオンに対する応答（和歌山高専）○林 純二郎・亀井 雄斗・松村 匡展・井上 雄登

D1010（13:45～14:00）中空銀ナノシェルの屈折率感度の評価とプラズモン共鳴波長に対する依存性（和歌山大システム工）○門 晋平・高岡 和也・矢嶋 摂子

［PC設定時間］

座長　座古　保

【奨励賞講演】 D1011（14:10～14:40）ナノ領域光貯蔵・局在化システムの設計、高性能化と分析科学への展開（九大）○高橋 幸奈

D1012（14:40～14:55）中空銀ナノシェル生成の自己触媒反応モデルに基づく速度論的解析と反応機構の提案（和歌山大システム工）○西浦 將司・門 晋平・矢嶋 摂子

D1013（14:55 ～ 15:10）Fe_3O_4/polystyrene Nanoparticles Tracking at the Oil/Water Interface by Total Internal Reflection Fluorescence Microscope（阪大院理）○Gong, Wanyun

［PC設定時間］

座長　塚原　聡

D1014R（15:20～15:50）液体界面における自走駆動粒子の運動駆動力（千葉大院工）○藤浪 眞紀

D1015（15:50～16:05）電位制御下の液液界面におけるアニオン性亜鉛（II）ポルフィリンの光機能性自己組織化膜の生成機構（金沢大物質化学[1]・Limerick Univ.[2]）○山本 翔[1]・永谷 広久[1]・Andrés M. Osorio[2]・Micheál D. Scanlon[2]

D1016（16:05～16:20）液液界面における水溶性アゾベンゼン誘導体の光異性化による吸着反応制御（金沢大院自然）○中野 湧太・永谷 広久・西山 嘉男・井村 久則

［PC設定時間］

座長　永谷　広久

D1017（16:30～16:45）氷壁面からの物理的干渉の制御による粒子のサイズ分離（東工大理学院）○藤野 紗央里・稲川 有徳・原田 誠・岡田 哲男

D1018（16:45～17:00）凍結によるリン酸塩水溶液のpH変化のExtended UNIQUAC モデルを用いた評価（東工大理学院）○岡田 悠佑・宇山 允人・原田 誠・岡田 哲男

D1019（17:00～17:15）レーザー誘起単一ピコリットル微粒子による単一分子レベル抽出分析（北大院総化[1]・北大院理[2]）○野島 明瑞美[1]・三浦 篤志[1,2]・喜多村 昇[1,2]

第2日（9月13日）

座長　石坂　昌司

【奨励賞講演】 D2001（9:00～9:30）ナノ構造体を用いた新奇光捕捉法の開発と展開（阪市大院理）○東海林 竜也

D2002（9:30～9:45）油水界面における金属・半導体ナノ結晶の高効率光捕捉（阪市大院理[1]・名大院工[2]）○山西 大樹[1]・仲 翔太[1]・東海林 竜也[1]・小山 晟矢[2]・亀山 達矢[2]・鳥本 司[2]・坪井 泰之[1]

D2003（9:45～10:00）単一ODSシリカゲル微粒子/溶液系におけるクマリン系色素の移動機構の解析（筑波大院数理物質）○秦 克弥・中谷 清治

［PC設定時間］

座長　東海林　竜也

D2004（10:10～10:25）ドープ氷構造解析（東工大理院）○原田 誠・徳増 宏基・岡田 哲男

D2005（10:25～10:40）エアロゾル散乱全角度分布同時計測装置による粒子の形状推定およびその応用（広島大院理[1]・長崎大院水産環境[2]・名大院理[3]）○中川 真秀[1]・中山 智喜[2]・松見 豊[3]・石坂 昌司[1]

D2006（10:40～10:55）単一エアロゾル水滴表面への有機物吸着測定（東北大多元研[1]・東工大理学院[2]・JST さきがけ[3]・広島大院理[4]）遠藤 拓也[1,2]・石川 京平[2]・福山 真央[1,3]・浦岡 将[4]・石坂 昌司[4]・○火原 彰秀[1]

［PC設定時間］

座長　三浦　篤志

D2007（11:05～11:20）四極子核定量NMR分析によるイオンの固相への表面吸着に対する固相表面ゼータ電位の影響評価（神戸大環境保全推進セ[1]・神戸大院工[2]・神戸大工[3]）○牧 秀志[1,2]・橘 高志[3]・水畑 穣[2]

D2008（11:20～11:35）差動型微分干渉顕微鏡を基にした固体表面を濡れ広がる液膜先端厚さのナノメートル精度計測法の開発（東理大理）○伴野 元洋・大野 風優・由井 宏治

D2009（11:35～11:50）ダブルビームを用いた気相中での2つの液滴の同時捕捉に関する研究（広島大理[1]・広島大院理[2]）○田中 悠太[1]・石坂 昌司[2]

第3日（9月14日）

座長　高橋　幸奈

D3001R（9:00～9:30）脂質二分子膜に対するイオンの吸着・分配（京工繊大院工芸科学[1]・東北大多元研[2]）村上 宏司[1]・堀 貴翔[1]・前田 耕治[1]・福山 真央[2]・○吉田 裕美[1]

D3002（9:30～9:45）カチオン性膜透過ペプチドの脂質二分子膜への分配・吸着（京工繊大院工芸科学[1]・京工繊大工芸科学[2]・東北大多元研[3]）○宮城 政弘[1]・大松 照政[1]・石田 尚人[2]・吉田 裕美[1]・福山 真央[3]・前田 耕治[1]

D3003（9:45～10:00）細孔電気抵抗法を用いたヒトインフルエンザウイルスの特異的検出（医科歯科大生材研[1]・医科歯科大院医歯[2]）○堀口 諭吉[1]・合田 達郎[1]・松元 亮[1]・武内 寛明[2]・山岡 昇司[2]・宮原 裕二[1]

［PC設定時間］

座長　中原　佳夫

D3004（10:10 ～ 10:25）Enhanced biosynthesis of CdS quantum dots through *E. coli* with expression of phytochelatin（Agri. UTokyo.）○Dingkun Zhang・Toshiyoshi Yamamoto・Donglin Tang・Yugo Kato・Michio Suzuki

D3005（10：25 ～ 10：40）O/Wマイクロエマルションの界面に吸着したサーファクチンの物性の測定（阪大院理[1]・カネカ[2]）〇菱田 泰史[1]・塚原 聡[1]・長野 卓人[2]

D3006（10：40 ～ 10：55）金ナノ粒子存在下でのレーザー光による小胞捕集機構の解明（岡山大院自然）〇谷 夢希・金田 隆

[PC設定時間]

座長　山口　央

D3007（11：05 ～ 11：20）トリ-*n*-オクチルホスフィンオキシドを用いる銀ナノ粒子の配位子交換と銀の融合性の評価（和歌山大システム工[1]・大阪技術研[2]）〇岡田 宗一郎[1]・中原 佳夫[1]・渡辺 充[2]・玉井 聡行[2]・矢嶋 摂子[1]

D3008（11：20 ～ 11：35）微生物由来の有機高分子を用いた、環境低負荷型の金属ナノ粒子合成法の開発（東大院農[1]・放送大教養[2]）〇加藤 由悟[1]・菊池 郁也[1]・李 禕婷[1]・井村 祐己[1]・吉村 悦郎[1,2]・鈴木 道生[1]

D3009（11：35 ～ 11：50）ジ - 2 - スルホこはく酸ナトリウム/アルキル硫酸ナトリウム混合水溶液における疎水基の構造が界面粘弾性挙動に与える影響（花王[1]・和歌山大システム工[2]）〇青野 恵太[1,2]・鈴木 不律[1]・蓬田 佳弘[1]・岡野 哲也[1]・門 晋平[2]・中原 佳夫[2]・矢嶋 摂子[2]

座長　原田　誠

D3010（13：00 ～ 13：15）液液界面におけるオレイン酸ナトリウム集団運動機構（千葉大院工[1]・東大院総合文化[2]）〇綿引 靖人[1]・豊田 太郎[2]・Chiari, Luca[1]・野本 知理[1]・藤浪 眞紀[1]

D3011（13：15 ～ 13：30）光捕捉-顕微ラマン分光法による相分離した種々の温度応答性高分子液滴中の高分子濃度解析（阪市大院理[1]・阪市大複合先端[2]・阪市大院工[3]）〇藤原 華代[1]・東海林竜也[1]・松本 充央[1]・麻生 隆彬[2]・堀邉 英夫[3]・西山 聖[3]・坪井泰之[1]

D3012（13：30 ～ 13：45）表面対流および表面張力計測による水溶液表面における樟脳船自走運動機構の液性依存性（千葉大院工[1]・東大院総合文化[2]）〇野本 知理[1]・豊田 太郎[2]・藤浪 眞紀[1]

[PC設定時間]

座長　豊田　太郎

D3014（13：55 ～ 14：10）伝導度計測に基づく単分子接合の安定性の定量的評価（東工大理）〇長谷川 雄祐・原島 崇徳・西野智昭

D3015（14：10 ～ 14：25）単一エアロゾル油滴の相転移挙動のレーザー捕捉・顕微分光（3）（北大院総化[1]・北大院理[2]）〇中島 僚介[1]・三浦 篤志[1,2]・喜多村 昇[1,2]

D3016（14：25 ～ 14：40）キラル分子探針を用いた電気伝導度計測に基づく表面単分子不斉認識（東工大理）〇村上 諒・西野智昭

D3017（14：40 ～ 14：55）メソポーラスアルミナの開発と酵素センサーへの応用（東北大未来科学技術共同研究セ[1]・茨城大院理工[2]・茨城大理[3]）〇渋屋 祐太[1]・片山 知哉[2]・山口 央[3]

【 E 会 場 】

第1日（9月12日）

座長　北村　裕介

E1001（13：00 ～ 13：15）RNA高次構造を標的とした蛍光性ペプチド核酸プローブの合成と機能評価（東北大院理）〇田邉 貴昭・髙橋 勇樹・佐藤 貴哉・佐藤 雄介・西澤 精一

E1002（13：15 ～ 13：30）RNA選択性を有する赤色蛍光性モノメチンシアニン色素の合成と機能評価（東北大院理）〇芳野 幸奈・佐藤 雄介・西澤 精一

E1003（13：30 ～ 13：45）カーボン量子ドットの過シュウ酸エステル化学発光反応における蛍光体としての組み込みと過酸化水素分析への応用（九大院工）〇中野 幸二・本田 敬之・山﨑 香菜子・田仲 慶紀・谷口 渓一・勝尾 祐太・石松 亮一・今任 稔彦

[PC設定時間]

座長　床波　志保

E1004（13：55 ～ 14：10）側面ポイント発光ファイバーを光源とする蛍光観察システムの開発と細胞アッセイへの応用（東京薬大薬[1]・バイオリサーチセ[2]）〇森田 健司[1]・西尾 将人[2]・森岡和大[1]・柳田 顕郎[1]・東海林 敦[1]

E1005（14：10 ～ 14：25）ゼブラフィッシュ胚の酸素消費量に基づく化学物質のリスク評価法（兵庫県大院物質理学[1]・日本航空電子[2]・東北大院環境[3]・東北大院工[4]）〇鈴木 雅登[1]・寺尾和輝[1]・國方 亮太[2]・須田 篤史[2]・井上（安田）久美[3]・伊野 浩介[4]・末永 智一[3]・安川 智之[1]

E1006（14：25 ～ 14：40）人工脂質二分子膜を利用するエキソソームのリアルタイム膜融合アッセイの構築（東薬大院薬[1]・バイオリサーチセ[2]）〇西尾 将人[1,2]・森岡 和大[1]・柳田 顕郎[1]・東海林 敦[1]

E1007（14：40 ～ 14：55）エクソソーム検出を指向した両親媒性α-helix蛍光ペプチドプローブの開発（東北大院理）〇最上 絢太・高橋 健太・佐藤 雄介・西澤 精一

[PC設定時間]

座長　梅村　知也

【奨励賞講演】 E1008（15：05 ～ 15：35）蛍光色素及び修飾核酸を利用した生体分子解析技術の開発とその応用（産総研）〇谷英典

[PC設定時間]

座長　安川　智之

E1009（15：45 ～ 16：00）分子インプリンティングを利用したバクテリアのハイスループット検出（常州大石油化学院[1]・阪府大院工[2]）単 学凌[1]・Nguyen, Dung[2]・〇椎木 弘[2]

E1010（16：00 ～ 16：15）磁化率とゼータ電位による細胞評価（カワノラボ[1]・マイクロテックニチオン[2]）〇森 清香[1]・藤田木綿子[2]・伊東 康平[2]・河野 誠[1]

E1011（16：15 ～ 16：30）光誘起対流を用いた細胞検出の基本原理開拓（阪府大院工[1]・阪府大院理[2]・阪府大LAC-SYS研[3]）〇西尾 まどか[1,3]・川口 諒太郎[1,3]・山本 靖之[2,3]・田村 守[2,3]・飯田 琢也[2,3]・床波 志保[1,3]

E1012（16：30 ～ 16：45）酵素応答的な蛍光分子の細胞内集積を利用するフローサイトメトリーの高感度（九大システム生命科学[1]・九大工[2]）〇本部 大輝[1]・神野 健太[1]・岸村 顕広[2]・森健[2]・片山 佳樹[2]

E1013（16：45 ～ 17：00）膜タンパク質－脂質相互作用に対する定量評価法の開発および特異的脂質の同定（九大院理）〇稲田壮峰・木下 祥尚・松森 信明

第2日（9月13日）

座長　佐藤　守俊

【奨励賞講演】E2001（9:00～9:30）光応答性マテリアルによるバイオ分析法の開発（東理大基礎工[1]・東理大IFC[2]）○上村 真生[1,2]

E2002（9:30～9:45）抗体のバルジ構造特異的な認識を利用したrRNA修飾塩基検出法（産総研バイオメディカル）○吉岡 恭子・栗田 僚二

［PC設定時間］

座長　栗田　僚二

E2003（9:55～10:10）G-quadruplexを利用したRNA faction検出法の開発（熊本大院先端[1]・京大化研[2]・弘前大理工[3]）○勝田 陽介[1]・嘉村 匠人[1]・北村 裕介[1]・萩原 正規[3]・佐藤 慎一[2]・井原 敏博[1]

E2004（10:10～10:25）機能解明を志向した生細胞内RNAの1分子標識・動態分析法（東大院理）○吉村 英哲・山田 俊理・江口 正敏・島田 林太郎・小澤 岳昌

E2005（10:25～10:40）シロイヌナズナにおけるニッケル耐性を強化する遺伝子変異の探索（中央大院理工[1]・広島大院生物圏[2]）○岡崎 俊樹[1]・西田 翔[2]・池田 智洋[1]・古田 直紀[1]

［PC設定時間］

座長　小澤　岳昌

E2006R（10:50～11:20）ラマン散乱による細胞分子イメージング技術の開発（阪大院工）○藤田 克昌

E2007R（11:20～11:50）1細胞パルペーションデバイスの開発（九大工[1]・JST, PRESTO[2]）○加地 範匡[1,2]

第3日（9月14日）

座長　佐藤　記一

E3001（9:00～9:15）暗視野イメージング画像の色分解による標的分子検出に向けた金ナノ粒子凝集解析法（愛媛大院理工[1]・愛媛大PROS[2]・理研[3]）○矢野 湧暉[1]・二艘木 優充[1]・矢野 雄暉[1]・中西 文香[1]・小川 敦司[2]・前田 瑞夫[3]・朝日 剛[1]・座古 保[1]

E3002（9:15～9:30）選択的バイオセンシングのための金ナノ粒子表面修飾の検討（愛媛大院理工[1]・理研[2]）○矢野 雄暉[1]・矢野 湧暉[1]・小川 敦司[1]・前田 瑞夫[2]・朝日 剛[1]・座古 保[1]

E3003（9:30～9:45）ホルモン輸送タンパク質トランスサイレチンによるアミロイドβ凝集抑制能を利用した化合物の内分泌撹乱性評価（愛媛大院理工[1]・愛媛大CMES[2]）○福永 隼大[1]・国末 達也[1,2]・座古 保[1]

E3004（9:45～10:00）脂質ラフトによる上皮成長因子担持金ナノ粒子が誘起するアポトーシス活性の制御（物材機構MANA[1]・農研機構[2]・神奈川大理[3]）○山本 翔太[1]・岩丸 祥史[2]・清水 善久[1]・山口 和夫[3]・中西 淳[1]

E3005（10:00～10:15）DNA切断活性を有する抗がん剤の目視探索への展開に向けたDNA二重鎖密生型金ナノ粒子の分散安定性評価（東理大基礎工教養[1]・東理大院基礎工[2]・理研前田バイオ工学[3]）○秋山 好嗣[1]・木村 和徳[2]・菊池 明彦[2]・宝田 徹[3]・前田 瑞夫[3]

［PC設定時間］

座長　中西　淳

E3006（10:25～10:40）2光子顕微鏡を用いた生体内イメージングによる一細胞レベルでのがん細胞の浸潤形成の動態可視化法の確立（東大総合文化広域システム）○上田 善文・佐藤 守俊

E3007（10:40～10:55）マイクロ血管モデルのための中空状ハイドロゲル内での血管構成細胞の共培養（群馬大院理工）○秦 真理奈・角田 欣一・佐藤 記一

E3008（10:55～11:10）薬剤の排泄試験のためのマイクロ腎モデル開発に向けた尿細管部位の検討（群馬大院理工[1]・第一三共[2]）○高橋 杏奈[1]・渡邊 健悟[2]・小渕 航[2]・角田 欣一[1]・佐藤 記一[1]

E3009（11:10～11:25）マイクロ糸球体モデルの開発とバイオアッセイへの応用（群馬大院理工[1]・群馬大院医[2]）○川口 聖矢[1]・小林 靖子[2]・角田 欣一[1]・佐藤 記一[1]

［PC設定時間］

座長　佐藤　守俊

【バイオ分析研究懇談会】E3010（11:35～12:05）細胞の分子夾雑環境での核酸構造の定量解析とその応用（甲南大FIRST）○三好 大輔

座長　竹中　繁織

【女性Analyst賞講演】E3011（13:00～13:30）分子認識を利用した電気化学的バイオセンサの構築（九工大院工[1]・九工大RCBT[2]）○佐藤 しのぶ[1,2]

［PC設定時間］

座長　菅原　一晴

E3012（13:40～13:55）核酸の動的構造のプログラミングを利用した電気化学シグナル増幅型核酸検出法の開発（熊本大院先端）○北村 裕介・倉本 諒・勝田 陽介・井原 敏博

E3013（13:55～14:10）標的核酸を触媒として分解する金ナノ粒子を内包したDNAハイドロゲルの調製とバイオセンサへの応用（筑波大院数理）○大石 基・中谷 一貴

E3014（14:10～14:25）核酸塩基種別のための単分子高精度解析法の開発（阪大産研[1]・東大院工[2]）○大城 敬人[1]・古畑 隆史[2]・小本 祐貴[1]・植木 亮介[2]・山東 信介[2]・谷口 正輝[1]

E3015（14:25～14:40）単分子伝導計測に基づく表面におけるDNAハイブリダイゼーションのダイナミクスの解明（東工大理）○原島 崇徳・西野 智昭

［PC設定時間］

座長　大城　敬人

E3016（14:50～15:05）新規RFP蛍光タンパク質（Akane family）の連続的マルチ蛍光の研究（福岡大理[1]・北里大海洋生命[2]・長崎国際大薬[3]）○加藤 祐子[1]・吉田 亨次[1]・神保 充[2]・大庭 義史[3]・中島 憲一郎[3]・山口 敏男[1]

E3017（15:05～15:20）タンパク質センシングのためのチロシンリッチペプチド導入タンパク質の構築（前橋工大[1]・富山大院理工(理)[2]）○菅原 一晴[1]・菊池 壮也[1]・倉光 英樹[2]・門屋 利彦[1]

E3018（15:20～15:35）複数種類の蛍光タンパク質を利用した段階的な蛍光ラベル化技術の開発（九工大院情報工[1]・九工大RCBT[2]）溝上 天翔[1]・西 彩里[1]・田崎 咲雅[1]・○末田 慎二[1,2]

【 F 会 場 】

第1日（9月12日）

座長　西島　喜明

F1001（9:30～9:45）多変量解析を用いた蛍光・分光データによるワイン評価への応用（日立ハイテクサイエンス）○岩谷 有香・堀込 純・白崎 俊浩・清水 克敏

F1002（9:45～10:00）種々の多変量解析を組み合わせた蛍光指紋データ活用法の検討（日立ハイテクサイエンス）○堀込 純・岩谷 有香・坂元 秀之・清水 克敏・森川 悟・白崎 俊浩

F1003（10:00～10:15）マレイミドメタノール溶液膜から準静的に生成する結晶膜の時間的段階生成および構造相関（鹿児島大院理工[1]・鹿児島大工[2]）○吉留 俊史[1]・松山 薫[1]・早坂 美似奈[2]・肥後 盛秀[1]

F1004（10:15～10:30）Flocculation-SERS法による水和金属イオンの高感度分析（埼玉大院理工）○二又 政之・桑名 竜太郎

［PC設定時間］

座長　吉留　俊史

F1005（10:40～10:55）振動および電子分光法を用いたLi塩を含むDeep Eutectic Solventsのイオン形態の分析（近大理工）○西木戸 和貴・森澤 勇介

F1006（10:55～11:10）低波数ラマン光学活性による溶液中ポリ-L-アラニンの構造解析（阪大院理）○山本 茂樹

F1007（11:10～11:25）パーフルオロアルキル鎖特有のねじれ構造に起因するアトロプ異性体のラマン分光イメージング法による識別（京大化研[1]・群馬大院理工[2]・産総研[3]）○下赤 卓史[1]・園山 正史[2]・網井 秀樹[2]・高木 俊之[3]・金森 敏幸[3]・長谷川 健[1]

座長　長谷川　健

F1008R（13:00～13:30）自動車関連材料におけるラマン・赤外分析～微量分析への挑戦～（豊田中央研究所）○加藤 雄一

F1009（13:30～13:45）赤外NDIRセンサーに向けたプラズモン・メタ表面光源・検出器の開発（横浜国立大学）○西島 喜明

［PC設定時間］

座長　加藤　雄一

F1010（13:55～14:10）ラマン光学活性によるα-ヘリックス構造の解析：溶媒誘電率および構造平衡についての検討（阪大院理）○木村 文哉・塚原 聡・山本 茂樹

F1011（14:10～14:25）フロースルー型SERSデバイスの検出特性（右近工舎[1]・滋賀県大工[2]・北陸先端科技大[3]・産総研[4]）○右近 寿一郎[1]・Balachandran Jeyadevan[2]・John Cuya[2]・山本 裕子[3]・伊藤 民武[4]

F1012（14:25～14:40）液液光導波路形成に用いるシースフローにおける酸塩基中和反応の計測法の開発とその評価（群馬大院理工）○浪岡 耕平・佐藤 記一・角田 欣一

［PC設定時間］

座長　森　勝伸

【IC研究懇談会】 F1013（14:50～15:20）Australian Centre for Research on Separation Science（ACROSS）に留学して（酪農大農食環境）○中谷 暢丈

第2日（9月13日）

座長　真栄城　正寿

F2001（9:00～9:15）クロマトグラフィーの原理を用いた距離に基づくマイクロペーパーデバイスの開発（岡山大院自然）○橋本 悠生・金田 隆

F2002（9:15～9:30）Phos-tag結合型光硬化性アクリルアミドによるリン酸化化合物のオンライン特異的濃縮とマイクロチップ電気泳動分離（近畿大薬）○山本 佐知雄・矢野 祥子・増田 誠子・姫野 美幸・木下 充弘・鈴木 茂生

F2003（9:30～9:45）マイクロ・拡張ナノ血漿分離デバイスの開発（東大院工）○三瀬 純平・森川 響二朗・森 絵美・嘉副 裕・馬渡 和真・北森 武彦

［PC設定時間］

座長　甲斐　洋行

F2004（9:55～10:10）ナノピラーデバイスを用いたDNAのサイズ分離と無標識検出（北大院総化[1]・名大院工[2]・ナノバイオ研セ[3]・北大電子研[4]・北大院工[5]）○阿尻 大雅[1]・安井 隆雄[2,3]・笠 晴也[4]・真栄城 正寿[5]・石田 晃彦[5]・谷 博文[5]・西井 準治[4]・馬場 嘉信[2,3]・渡慶次 学[3,5]

F2005（10:10～10:25）フェムトリットル極限分析に向けた拡張ナノ流路開閉バルブの開発（東大院工）○佐野 大樹・嘉副 裕・馬渡 和真・北森 武彦

F2006R（10:25～10:55）網羅的ヒトタンパク質発現技術の定量プロテオミクス・プロテインアレイ解析への応用（産総研）○福田 枝里子・五島 直樹

［PC設定時間］

座長　金田　隆

F2007（10:55～11:10）Gタンパク質共役型受容体の薬剤依存的な活性化状態変化の一分子測定（東大院理）○西口 知輝・吉村 英哲・小澤 岳昌

F2008R（11:10～11:40）走査電子誘電率顕微鏡による有機材料や生物試料の液中観察と分析（産総研）○小椋 俊彦・岡田 知子

第3日（9月14日）

座長　宗林　由樹

F3001（9:00～9:15）桜島火山降灰中の微量元素溶出と存在形態の関係（鹿児島大理）○伊藤 沙織・園田 愛留音・中島 常憲・高梨 啓和・大木 章

F3002（9:15～9:30）石炭および石炭灰に含まれるフッ素の水環境への溶出と簡易分析法の開発（鹿児島大院理工）○中島 常憲・川口 悠太・藤田 裕季・高梨 啓和・大木 章

F3003（9:30～9:45）酸素フラスコ燃焼法とHGAASを用いる固体試料中のセレン分析（鹿児島大院理工）○島本 英毅・杉安 雅貴・中島 常憲・高梨 啓和・大木 章

［PC設定時間］

座長　高橋　透

F3004（9:55～10:10）超分子型固相抽出材を用いた排水中セレンの価数別分離定量（金沢大院自然[1]・福島大環境放射能研[2]・金沢大理工[3]）○宮口 真帆[1]・中窪 圭佑[1]・Suman Barua[1]・Ismail M.M. Rahman[2]・真塩 麻彩実[3]・牧 輝弥[3]・長谷川 浩[3]

F3005（10:10～10:25）分子鋳型を用いたエストロゲン受容体活性物質の選択的吸着と環境試料スクリーニング（京大院工[1]・国環研[2]）○久保 拓也[1]・柳下 真由子[2]・中島 大介[2]・内藤 豊裕[1]・大塚 浩二[1]

F3006（10：25 ～ 10：40）有機色素を用いる建材中のアスベストの直接識別・検出法（佐賀大理工）○田端 正明・上田 晋也

［PC設定時間］

座長　堀田　弘樹

F3007（10：50 ～ 11：05）可視光照射下における g-C_3N_4/AgBr/Ag_3PO_4三元系光触媒活性の評価（三重大院工[1]・三重大国際環境教育研究セ[2]）○辻本 駿弥[1]・勝又 英之[1]・立石 一希[2]・古川 真衣[1]・金子 聡[1,2]

F3008（11：05 ～ 11：20）酸素ドープと窒素欠損を伴った g-C_3N_4の一段階合成とその光触媒活性（三重大院工[1]・三重大国際環境教育研究セ[2]）○東 史哉[1]・勝又 英之[1]・立石 一希[2]・古川 真衣[1]・金子 聡[1,2]

【JAIMA機器開発賞講演】 F3009（11：20 ～ 11：50）ドリフトフリー環境大気自動計測器の開発（紀本電子工業）○鈴江 崇彦・北山 紗織・村田 周司・谷口 悟

座長　小川　信明

F3010（13：00 ～ 13：15）ウシの歯を用いた福島第一原発事故後のSr-90汚染経過の推定（東北大院理[1]・東北大理[2]・東北大高教機構[3]・東北大病院[4]・東北大院歯[5]・東北大災害研[6]・東北大院医[7]・岩手大理工[8]・東北大院農[9]・東京医大[10]）○小荒井 一真[1]・木野 康志[1]・西山 純平[1]・金子 拓[1]・小野 拓実[2]・岡 壽崇[1,3]・高橋 温[4]・鈴木 敏彦[5,6]・清水 良央[5]・千葉 美麗[5]・小坂 健[5,6]・佐々木 啓一[5]・漆原 佑介[7]・福田 智一[8]・磯貝 恵美子[9]・関根 勉[1,3]・福本 学[10]・篠田 壽[5]

F3011（13：15 ～ 13：30）歯のESR測定によるヒトおよび動物の外部被ばく線量評価（東北大高教機構[1]・東北大院理[2]・東北大病院[3]・東北大院歯[4]・東北大院医[5]・東北大災害機構[6]・東京医科大分子病理[7]）○岡 壽崇[1,2]・高橋 温[3]・小荒井 一真[2]・木野 康志[2]・関根 勉[1,2]・清水 良央[4]・千葉 美麗[4]・鈴木 敏彦[4]・小坂 健[4]・佐々木 啓一[4]・漆原 佑介[5]・鈴木 正敏[6]・福本 学[7]・篠田 壽[4]

F3012（13：30 ～ 13：45）堆積物・岩石中モリブデン・タングステン安定同位体比分析法（京大化研[1]・高知大農林海洋科学[2]）○宗林 由樹[1]・辻阪 誠[1]・村山 雅史[2]

F3013（13：45 ～ 14：15）ICP質量分析計によるナノ粒子の元素・同位体組成分析法の開発（東大理）○平田 岳史・山下 修司・菊地 悠・鈴木 敏弘

［PC設定時間］

座長　壹岐　伸彦

F3014（14：25 ～ 14：40）生分解性キレート剤を用いた原位置土壌洗浄によるヒ素の分離除去（金沢大院自然[1]・西松建設技研[2]・金沢大理工[3]）○齋藤 誠[1]・石井 健斗[1]・地井 直行[2]・山崎 将義[2]・石渡 寛之[2]・真塩 麻彩美[3]・牧 輝弥[3]・長谷川 浩[3]

F3015（14：40 ～ 14：55）PDCAキレート処理／LC-ICP-MSによるクロム価数別定量法における工場試料適用性の評価（産総研環境管理[1]・産総研四国セ[2]）○中里 哲也[1]・重田 香織[1]・藤田 愛[1]・田尾 博明[2]

F3016（14：55 ～ 15：10）イオン交換固相抽出－GC-MS法による環境水中アミノカルボン酸系キレート剤の分析（東薬大生命[1]・環境調査研修所[2]）○熊田 英峰[1]・中島 梨恵[1]・田部 あかね[1]・藤森 英治[2]・梅村 知也[1]

［PC設定時間］

座長　高貝　慶隆

F3017（15：20 ～ 15：35）ゲルマニウム半導体検出器による水質放射能自動測定装置の開発とその性能（環境総合テクノス）○太田 秀和

F3018R（15：35 ～ 15：50）赤城大沼における放射性Csの底質中の挙動と底質と湖水間の分配係数の測定（群馬大院理工[1]・群馬水試[2]・東京都市大[3]）○長谷川 涼[1]・角田 欣一[1]・渡辺 峻[2]・鈴木 究真[2]・岡田 往子[3]

F3019R（15：50 ～ 16：20）海底資源の科学的研究と調査手法の開発：分析化学の役割（海洋研究開発機構）○鈴木 勝彦・渡慶次 聡

【　G　会　場　】

第1日（9月12日）

座長　梨本　裕司

G1001（9：30 ～ 9：45）Horseradish Peroxidaseの直接電子移動反応とOxidaseの触媒反応を共役させた電気化学バイオセンサーの解析―ピルビン酸センサーを例として―（京大院農）○河井 遥範・北隅 優希・白井 理・加納 健司

G1002（9：45 ～ 10：00）オリゴ糖の電気化学検出を目的とした接合型二元金属ナノ粒子埋め込みカーボン薄膜電極の開発（埼玉工大[1]・産総研[2]）○芝 駿介[1,2]・小池 綾香[1]・鎌田 智之[2]・加藤 大[2]・丹羽 修[1]

G1003（10：00 ～ 10：15）ポリフェノールの電解酸化生成物の比較（神戸大院海事[1]・神戸大院農[2]・神戸大院理[3]）○松本 健嗣[1]・堀田 弘樹[1]・福士 恵一[1]・木村 行宏[2]・大堺 利行[3]

G1004（10：15 ～ 10：30）複数のイオンが関与する脂質二分子膜透過機構-膜透過電流と膜透過蛍光シグナルに基づく解析-(京工繊大院工芸科学[1]・東北大多元研[2]）○大松 照政[1]・堀 貴翔[1]・吉田 裕美[1]・福山 真央[2]・前田 耕治[1]

［PC設定時間］

座長　加藤　大

G1005R（10：40 ～ 11：10）電気化学分析用基板の開発と外場誘導型センシング（阪府大院工[1]・阪府大院理[2]・阪府大LAC-SYS研[3]）○床波 志保[1,3]・吉川 諒[1,3]・西尾 まどか[1,3]・栗田 慎也[1,3]・山本 靖之[2,3]・西村 勇姿[2,3]・田村 守[2,3]・飯田 琢也[2,3]

G1006（11：10 ～ 11：25）電極反応で生成する有機ラジカルイオンのミリ秒時間分解スペクトル（九大院工[1]・九大工[2]）○石松 亮一[1]・古川 佳栄[2]・中野 幸二[1]・今任 稔彦[1]

座長　山本　雅博

G1007（13：00 ～ 13：15）神経伝達物質の選択的イメージングに向けた電気化学デバイスの開発（東北大院環境[1]・東北大WPI-AIMR[2]・日本航空電子[3]・東北大µSIC[4]）○阿部 博弥[1]・岩間 智紀[1]・藪 浩[2]・井上（安田）久美[1]・國方 亮太[3]・須田 篤史[3]・松平 昌昭[4]・末永 智一[1]

G1008（13：15 ～ 13：30）電気化学測定による銅（I）ジイミン・ジホスフィン錯体の酸化還元特性の解析（北大院理）○吉田 将己・柳田 沙瑛・小林 厚志・加藤 昌子

G1009R（13：30 ～ 14：00）電気化学センシングに基づく肝様体、細胞塊の機能評価（東北大院工）○珠玖 仁

［PC設定時間］

座長　白井　理

G1010（14：10 ～ 14：25）凹凸をもつ電極界面での電気二重層効果（甲南大理工[1]・京大院農[2]）○山本 雅博[1]・加納 健司[2]

G1011（14:25～14:40）液状炭素電極を用いる微分パルスポーラログラフィー（信州大理）○岡田 拓也・巽 広輔

G1012（14:40～14:55）CdTe量子ドットの電気化学発光反応における粒子サイズ効果の考察（信州大院理工）○中山 雅之・今井 勇勝・北野 拓磨・高橋 史樹・金 継業

G1013（14:55～15:10）層状マンガン酸化物を被覆した炭素繊維によるヨウ素の選択的回収と電気化学的再生プロセスの構築（山口大院創成科学[1]・山口大工[2]・広島大院工[3]）○鈴木 かのん[1]・丸川 竜一[2]・早川 慎二郎[3]・中山 雅晴[1]

［PC設定時間］

座長　前田　耕治

【電気分析化学研究懇談会】 G1014（15:20～15:50）酵素触媒電極反応の考え方と応用（京大院農）○加納 健司

座長　丹羽　修

【電気分析化学研究懇談会】 G1015（16:00～16:30）電気化学ナノイメージングの新展開（東北大）○末永 智一

第2日（9月13日）

座長　鈴木　敦子

G2001（9:00～9:15）新規ESR用誘電体共振器によるパラフィン包埋の悪性黒色腫の計測と解析（弘前大院保健[1]・東北大多元研[2]）○中川 公一[1]・大庭 裕範[2]

G2002R（9:15～9:45）HPLC-ESR装置による青果物水溶性成分の抗酸化活性オンライン分析（京工繊大）○田嶋 邦彦・櫻井 康博・三宅 祐輔・金折 賢二

［PC設定時間］

座長　熊谷　明哉

G2003（10:00～10:15）磁気泳動法による新しい粒子分析法を用いた電池材料粒子の評価（カワノラボ）○河野 誠・森 清香

G2004（10:15～10:30）銅ナノ粒子担持カーボンブラック電極を用いたメタノール溶液中のCO_2の電気化学的還元（三重大院工[1]・三重大国際環境教育研究セ[2]）○植本 尚貴[1]・古川 真衣[1]・立石 一希[2]・勝又 英之[1]・金子 聡[1,2]

G2005（10:30～10:45）Cu,Ni/CdZnS光触媒を用いた水素生成法の開発（三重大院工[1]・三重大国際環境教育研究セ[2]）○坂本 惇平[1]・勝又 英之[1]・立石 一希[2]・古川 真衣[1]・金子 聡[1,2]

G2006（10:45～11:00）ハニカム構造を有する細菌捕捉基板の電気化学的応用（阪府大院工[1]・阪府大院理[2]・阪府大LAC-SYS研[3]・千歳科技大[4]）○吉川 諒[1,3]・栗田 慎也[1,3]・山本 靖之[2,3]・Olaf Karthaus[4]・飯田 琢也[2,3]・床波 志保[1,3]

［PC設定時間］

座長　金橋　康二

【JAIMA機器開発賞講演】 G2007（11:15～11:45）Bi系高温超電導体を用いた世界初の超1GHz NMR装置の開発（物材機構[1]・JEOL RESONANCE[2]）○清水 禎[1]・端 健二郎[1]・大木 忍[1]・穴井 孝弘[2]

第3日（9月14日）

座長　満塩　勝

G3001（9:30～9:45）木質バイオマス発電における放射性セシウム含有灰の処理方法の提案（福島大理工[1]・福島大環境放射能研[2]）○大橋 弘範[1]・大槻 省悟[1]・小井土 賢二[1]・高瀬 つぎ子[2]

G3002（9:45～10:00）カカオ製品中微量元素の蛍光X線分析（東京電機大院工[1]・産総研物質計測標準[2]）○井上 昂哉[1]・井戸 航洋[1,2]・稲垣 和三[1,2]・保倉 明子[1]

G3003（10:00～10:15）非破壊蛍光X線分析によるアケメネス朝におけるガラスの生産および流通状況に関する研究（東理大理[1]・岡山市立オリエント美術館[2]・古代エジプト美術館[3]）○吉田 健太郎[1]・阿部 善也[1]・四角 隆二[2]・菊川 匡[3]・中井 泉[1]

G3004（10:15～10:30）蛍光X線元素イメージングにおける情報処理技術の適用（阪市大院工）○辻 幸一・山内 葵・三田 昇平・岩崎 正寛・林 和則

［PC設定時間］

座長　大橋　弘範

【X線分析研究懇談会】 G3005（10:40～11:10）PIXE分析技術の発展と現状（東北放射線科学セ）○石井 慶造

【X線分析研究懇談会】 G3006（11:10～11:40）X線異常散乱法を用いた非晶質合金の中距離秩序構造解析（東北大）○川又 透・杉山 和正

座長　辻　幸一

【技術功績賞講演】 G3007（13:00～13:30）X線回折を主とした鉄鋼関連物質の高度解析技術の開発（日鉄住金テクノ）○高山 透

G3008（13:30～13:45）湾曲試料を用いた高分解能回折図形の測定 ー Si_3N_4中未反応Siの定量 ー（明大理工[1]・リガク[2]）○中村 利廣[1,2]・高野 亮太郎[1]・萩原 健太[1]・小池 裕也[1]・大渕 敦司[2]

G3009（13:45～14:00）蛍光X線分析（FP法）による火成岩の全岩定量（リガク[1]・明大理工[2]）○森川 敦史[1]・松田 渉[1]・池田 智[1]・中村 利廣[1,2]

［PC設定時間］

座長　高山　透

G3010（14:10～14:25）グラファイトナノ薄膜の透過法軟X線吸収測定とsp2炭素の質量吸収係数の決定（兵庫県大院工[1]・産総研[2]・LBNL[3]）○村松 康司[1]・曽根田 靖[2]・Eric Gullikson[3]

G3011（14:25～14:40）走査型電子顕微鏡と高分解能X線光電子分光法及びX線回折法による加熱したAu薄膜上に真空蒸着したAl薄膜の形態観察と状態分析（鹿児島大院理工[1]・鹿児島大工[2]・鹿児島大機器分析セ[3]）○有田 隆陽[1]・長田 哲平[2]・満塩 勝[1]・肥後 盛秀[1]・久保 臣悟[3]

G3012（14:40～14:55）高分解能X線光電子分光法による酸素グロー放電酸化金薄膜の生成と紫外線分解に関する研究（鹿児島大院理工[1]・鹿児島大工[2]・鹿児島大機器分析セ[3]）○肥後 盛秀[1]・鈴木 寛仁[2]・松原 裕拓[1]・満塩 勝[1]・久保 臣悟[3]

G3013（14:55～15:10）高分解能X線光電子分光法と表面プラズモン共鳴法による酸素グロー放電酸化金薄膜の各種水溶液との反応に関する研究（鹿児島大院理工[1]・鹿児島大機器分析セ[2]）○小野 加寿麻[1]・満塩 勝[1]・肥後 盛秀[1]・久保 臣悟[2]

【 H 会 場 】

第1日（9月12日）

座長　赤坂　和昭

H1001（9:30～9:45）陰イオン吸着性光触媒の合成とクロマトグラフィーを用いた水質浄化性能評価（群馬大院理工[1]・原子力機構[2]・高知大教育研究部[3]）○山崎 太樹[1]・小林 健太朗[1]・井坂 茉由[1]・杉田 剛[2]・森 勝伸[3]・板橋 英之[1]

H1002（9:45～10:00）光触媒の水質浄化性能試験に関わる流れ分析の利用（高知大学教育研究部[1]・原子力機構[2]）○森 勝伸[1]・杉田 剛[2]

H1003（10：00～10：15）水処理過程における*N*-ニトロソアミン類生成機構の検討（鹿児島大院理工[1]・長崎大院工[2]）○谷末武人[1]・児玉谷 仁[1]・藤岡 貴浩[2]・神崎 亮[1]・冨安 卓滋[1]

H1004（10：15～10：30）表面気泡変調液体クロマトグラフィーによる前濃縮を用いた水試料中の揮発性有機化合物のHPLC分析（埼玉大院理工）○中野 陽介・半田 友衣子・齋藤 伸吾・渋川 雅美

［PC設定時間］

座長　岸川　直哉

H1005T（10：45～11：15）生体試料多検体分析のための迅速前処理手法の紹介（ジーエルサイエンス）○太田 茂徳・古庄 義明

H1006R（11：15～11：45）低温分離条件を用いた逆相HPLCによるビタミンE類の分離・分析（尚絅学院大健康栄養）○赤坂和昭

座長　中村　洋

【LC研究懇談会】 H1008（13：00～14：00）カラム内での液液分配を用いた生体試料のための前処理法（バイオタージ）○加藤尚志

［PC設定時間］

座長　久保　拓也

H1009（14：10～14：25）網羅的DNA付加体定量分析を目指したHILIC分離系の開発（愛知工大[1]・岐阜薬大[2]）○村上 博哉[1]・岩政 衣美[1]・杉山 拓也[1]・三木 雄太[1]・井上 嘉則[1]・江坂幸宏[2]・手嶋 紀雄[1]

H1010（14：25～14：40）HILIC系および逆相クロマトグラフィーに共通して利用できるオンライン精製糖鎖分析システムの開発（近畿大薬）○鈴木 茂生・岸本 有加・岡田 風花・山本佐知雄・木下 充弘

H1011（14：40～14：55）親水性相互作用クロマトグラフィーを用いた親水性チオラート保護金属クラスターの高分解能分離と化学組成評価（東理大院理）○吉田 佳奈・新堀 佳紀・浜田 幸太・根岸 雄一

H1012（14：55～15：10）非対称流れ流動場分離法（Asymmetrical Flow Field-Flow Fractionation；AF4）における金ナノ粒子の分離挙動の検討（新日鐵住金先端研[1]・東農工大院生シ[2]・日鉄住金テクノロジー[3]）○板橋 大輔[1,2]・水上 和実[3]・西藤 将之[1]

［PC設定時間］

座長　北川　慎也

H1013（15：20～15：35）ガードカラムを用いた陰イオンのイオンクロマトグラフィーと同時分離法への応用（群馬大院理工[1]・高知大教育研究部[2]）○吉井 咲夢[1]・森 勝伸[2]・樋山 みやび[1]・板橋 英之[1]

H1014（15：35～15：50）新規ポリマーベース固定相を用いたHPLCにおける多環芳香族化合物の保持挙動（豊橋技科大工[1]・山梨大工[2]）○隅谷 王士郎[1]・中神 光喜[1]・小池 凌太[1]・植田 郁生[2]・齊戸 美弘[1]

H1015R　講演中止

［PC設定時間］

座長　仲川　清隆

H1016（16：30～16：45）超臨界流体クロマトグラフィーによる水溶性高分子の分離（花王解析科学研[1]・九大生医研[2]）○森内章博[1,2]・和泉 自泰[2]・馬場 健史[2]

H1017（16：45～17：00）周波数分割多重化法を用いる同時分析型マルチプレックス LC-MSの開発（名工大院工）○北川 慎也・岸 博香・大谷 肇

H1018（17：00～17：15）LCチップにおける分析再現性向上に関する検討（東大院薬[1]・島津基盤研[2]）○黒木 啓志[1]・児山 浩崇[2]・中谷 友佑[2]・船津 高志[1]・堀池 重吉[2]・角田 誠[1]

H1019（17：15～17：30）非対称クロマトピーク形状の補正－モーメント解析法の開発（立教大理[1]・富山大工[2]）○宮部 寛志[1]・丹羽 裕輔[2]・大野 恭介[2]

第2日（9月13日）

座長　福島　美智子

H2001（9：00～9：15）イオン排除/陽イオン交換型イオンクロマトグラフィーによるビール中の無機/有機イオン類及びエタノールの同時分離定量（高知大理工[1]・中部大食品栄養[2]・酪農大[3]・中部大工[4]）○小崎 大輔[1]・谷畑 壮磨[2]・山本 敦[2]・森 勝伸[1]・中谷 暢丈[3]・田中 一彦[4]

H2002（9：15～9：30）イタドリに含まれる機能性成分の分析（和歌山県工技セ[1]・和歌山県林試[2]）○高垣 昌史[1]・木村 美和子[1]・坂口 和昭[2]・杉本 小夜[2]・高辻 渉[1]

H2003（9：30～9：45）安定同位体比および元素濃度によるアジアのコメの産地判別（農研機構食品研究部門[1]・森林総研[2]・日獣生科大院[3]）○鈴木 彌生子[1]・中下 留美子[2]・細沼 亜里沙[3]・知久 和寛[3]・吉田 充[3]

［PC設定時間］

座長　鈴木　彌生子

H2004（9：55～10：10）イオン選択性電極を用いた鮮度評価法の検討（東洋食品工業短大）○八木 謙一

H2005（10：10～10：25）マイクロ流路を用いたHot cell-direct PCR法による食品中のサルモネラ菌迅速検出（創価大院）○久保 いづみ・鍛治屋 光俊・荒牧 成美

H2006（10：25～10：40）重水素化体を内標準物質として用いたLC/MSによる食品中残留農薬の定量におけるマトリクス効果の評価（産総研）○中村 圭介・大竹 貴光・羽成 修康・高津章子

［PC設定時間］

座長　高津　章子

【女性Analyst賞講演】 H2007（10：50～11：20）危険ドラッグ・残留農薬等健康安全に関わる分析技術の開発と分析化学の応用・普及への取り組み（近畿麻取）○津村 ゆかり

第3日（9月14日）

座長　安井　明美

H3001（9：00～9：15）APDC/MIBK抽出法と中性子放射化分析法を用いたヒジキのAs（III）とAs（V）の分析（石巻専修大[1]・TINT[2]・Dalhousie Univ.[3]）○福島 美智子[1]・Jatechan Channui[2]・Arporn Busamongkol[2]・Sirinart Laoharojanaphand[2]・Amares Chatt[3]

【CERI評価技術賞講演】 H3002（9：15～9：45）安定同位体比および微量元素分析による食品の産地判別技術の開発（農研機構食品研究部門）○鈴木 彌生子

［PC設定時間］

座長　鈴木　彌生子

【表示・起源分析研究懇談会】 H3003（10：00～10：30）文化財の「表示」と「起源」－古代ガラス容器の非破壊蛍光X線分析－（東理大理）○阿部 善也

［PC設定時間］
座長　熊田　英峰
【環境分析研究懇談会】H3004（10：45～11：15）微小スプリングコイル（Spring）-SPMEの開発と環境分析への応用（フロンティア・ラボ）○青野 真依
座長　梅村　知也
【環境分析研究懇談会】H3005（11：15～11：45）イメージング質量分析による体内動態解析（福島大）○平 修

【 I 会 場 】

第1日（9月12日）
座長　石濵　泰
I1001R（9：30～10：00）組織ならびに血液中のタンパク質・ペプチドの存在様式解析技術の開発と応用（北里大理）○小寺 義男
I1002（10：00～10：15）エレクトロスプレーイオン化イオンモビリティータンデム型質量分析法による分子量数万のポリエチレングリコールの分析（名工大院工）○尾関 優香・北川 慎也・大谷 肇
I1003（10：15～10：30）脱離エレクトロスプレーイオン化法による耐候剤簡易スクリーニング方法の検討（大日本印刷）○柴田 貴史
［PC設定時間］
座長　眞野　成康
I1004R（10：40～11：10）メタボロミクスにおける質量分析の重要性（慶大先端生命）○平山 明由
I1005（11：10～11：25）ESI-MSによる亜硝酸イオン、アンモニアの定量のための誘導体化法の検討（群馬大院理工）○林 慎・佐藤 記一・角田 欣一
I1006（11：25～11：40）微量元素組成およびSr同位体比を用いた天然水の地域特性化（東理大理[1]・環境研[2]）○平岡 達也[1]・柳沢 直哉[1]・阿部 善也[1]・中井 泉[1]・高久 雄一[2]
座長　黒井　邦巧
I1007R（13：00～13：30）誘導ラマン散乱による高速振動分光イメージング（東大院工）○小関 泰之
I1008（13：30～13：45）蛍光及びプローブ光の偏向を利用した植物の新規*in-situ*リアルタイム計測法の開発（福岡工大）黄 洛偉・○呉 行正
［PC設定時間］
座長　呉　行正
I1009（13：55～14：10）質量分析法および透過度測定によるエマルションのクリーミング挙動の評価（福井大院工）○篠田 凌・内村 智博
I1010（14：10～14：25）多光子イオン化質量分析法を用いた転相エマルション評価法の開発（福井大院工）○岩田 匡史・内村 智博
I1011（14：25～14：40）セミミクロHPLC/紫外光励起光熱変換検出法を用いたニトロ多環芳香族炭化水素の高感度分析（九大院総理工）○原田 明・安部 聡彦・岩坂 諒・磯田 美紀
［PC設定時間］
座長　内村　智博
I1012R（14：50～15：20）過渡格子位相差顕微イメージング法による光半導体デバイスの応答解析（中大理工[1]・JSTさきがけ[2]）○片山 建二[1,2]
I1013（15：20～15：35）金属固体のレーザー吸収分光分析システムの開発（東大院工）○石川 大裕・山元 祐太・岩田 圭弘・吉田 芙美子・長谷川 秀一
［PC設定時間］
座長　大谷　肇
I1014（15：50～16：05）ポリイミド繊維を固定相に用いたガスクロマトグラフィー（豊橋技科大工[1]・山梨大工[2]）○中神 光喜[1]・隅谷 王士郎[1]・植田 郁生[2]・齊戸 美弘[1]
I1015（16：05～16：20）加熱脱着-GC/MSによる花粉マーカーの探索（熊本大院自然[1]・熊本大院先端[2]）○佐伯 健太郎[1]・山崎 大[1]・前園 青也[1]・大平 慎一[2]・戸田 敬[2]
I1016（16：20～16：35）ヘッドスペースガスクロマトグラフィー窒素リン検出のシアン偽陽性反応機構解明への応用（科警研[1]・テクノプロ[2]）○瀬戸 康雄[1]・名児耶 友樹[2]・栢 浩一郎[1]
I1017（16：35～16：50）熱分解GCを用いた流動層接触分解生成物の迅速分析（フロンティア・ラボ[1]・東北大[2]・アイシーラボ[3]）○塩野 愛[1]・渡辺 忠一[1]・寺前 紀夫[1,2]・室井 高城[1,3]
第2日（9月13日）
座長　齊戸　美弘
I2001T（9：00～9：30）ヘッドスペースガスクロマトグラフィーを用いた酒類の香気成分の評価（ヤマト科学）○小西 雅子・黒澤 伸行・樋口 敏之・本間 浩幸
I2002R（9：30～10：00）球状弾性表面波（ボールSAW）センサによるガス分析技術の高度化（ボールウェーブ[1]・東北大[2]）○山中 一司[1,2]・赤尾 慎吾[1]・辻 俊宏[2]・竹田 宣生[1]・塚原 祐輔[1]
座長　内山　一美
【技術功績賞講演】I2003（10：00～10：30）ガスクロマトグラフィーによる環境分析のための各種デバイスの開発（PAI-NET）○前田 恒昭
［PC設定時間］
座長　植田　郁生
【GC研究懇談会】I2004（10：45～11：45）習慣的多量飲酒と消化管発がんリスクと微生物アセトアルデヒド代謝（東北大院工）○中山 亨
第3日（9月14日）
座長　勝又 英之
I3001R（9：30～10：00）鉄鋼および関連材料を評価するための分析技術を下支えする分析化学の新展開－湿式分析の視点から－（宇都宮大院工）○上原 伸夫
［PC設定時間］
座長　松岡　史郎
I3002（10：10～10：25）着色アルミサッシのアルミ陽極酸化皮膜中のNiおよびSのXAFS分析（LIXIL[1]・千葉大院理[2]）○宇都宮 健[1]・山嵜 悟[1]・井須 紀文[1]・沼子 千弥[2]
I3003（10：25～10：40）半導体光触媒を用いた硝酸イオンからのアンモニア合成（三重大院工[1]・三重大国際環境教育研究セ[2]）○加藤 亮太[1]・古川 真衣[1]・立石 一希[2]・勝又 英之[1]・金子 聡[1,2]

【 J 会 場 】

第1日（9月12日）

座長　中野　幸二

J1001（9:30～9:45）流れ分析自動前処理システムを用いるガス状カルボニル化合物の定量（愛知工大）○加藤 大貴・村上博哉・井上 嘉則・手嶋 紀雄

J1002（9:45～10:00）吸光検出/フロー化学分析におけるSchlieren 効果の低減化（Brawijaya Univ. Dept.Chem.[1]・Ogawa&Co., MGC JAPAN[2]・岡山大インキュベータ[3]・岡山大院自然[4]・山梨大生命環境[5]）Hakim, Lukman[1]・樋口 慶郎[2]・○本水 昌二[3]・金田 隆[4]・鈴木 保任[5]

J1003（10:00～10:15）熱溶解積層型3Dプリンタを利用したPDMS製流路チップの作製とフローインジェクション分析への応用（富山衛研）○山下 智富・安川 和志・柚木 悦子

[PC設定時間]

座長　鈴木　保任

J1004（10:25～10:40）フロー電気化学発光デバイスの開発に向けたアルキルピレンの電気化学発光特性（九大院工）○岡田拓也・石松 亮一・中野 幸二

J1005（10:40～10:55）ジフェニルエーテル系除草剤の代謝物の定量分析を目的としたポリアニリン生成に基づくフロー吸光ELISA法の開発（九大院工[1]・ウシオ電機[2]）○清水 慎一[1]・石松 亮一[1]・森田 金市[2]・中野 幸二[1]

J1006（10:55～11:10）ランタン-アリザリンコンプレキソン試薬によるフッ化物イオンのFIAにおける試薬溶液の最適化（横国大）○中村 栄子

J1007（11:10～11:25）全窒素の酸化分解-UV・VIS同時検出フローインジェクション分析（愛知工大[1]・三菱ケミカルアナリテック[2]）○手嶋 紀雄[1]・作田 成久[1]・大野 慎介[2]・村上 博哉[1]・林 則夫[2]

座長　手嶋　紀雄

【FIA研究懇談会】 J1008（13:00～13:30）液体の流れによって計測される液液界面反応（阪大院理）○塚原 聡

[PC設定時間]

J1009R（13:40～14:10）振幅変調多重化フロー分析法と高濃度試料の非希釈分析（徳島大院医歯薬(薬)[1]・徳島大薬[2]・小川商会[3]）○田中 秀治[1,2]・和田 莉緒菜[2]・簗瀬 真利[2]・樋口 慶郎[3]・竹内 政樹[1,2]

[PC設定時間]

座長　田中　秀治

J1010（14:20～14:35）SIAによる栄養塩分の分析（3）（小川商会[1]・MGC JAPAN[2]・高知大農[3]・岡山大・岡山大インキュベータ[4]）○樋口 慶郎[1,2]・島村 智子[3]・本水 昌二[4]

J1011R（14:35～15:05）DNA塩基損傷の定量的分析手法の構築（岐阜薬大[1]・岐阜大院連合創薬[2]・愛知工大[3]・京大院薬[4]）○江坂 幸宏[1,2]・村上 博哉[3]・久戸 賢治[1]・國嶋 咲希[1]・吉元 亜希子[1]・石濱 泰[4]・手嶋 紀雄[3]・宇野 文二[1,2]

[PC設定時間]

座長　酒井　達子

J1012（15:15～15:30）温度制御パルスマイクロプラズマを用いた残留農薬の高感度検知装置の開発（関学大理工[1]・東工大未来研[2]・東大院理[3]）○岩井 貴弘[1]・御船 星[1]・岡田 将太[1]・岡本 悠生[2]・守屋 翔平[2]・宮原 秀一[3]・沖野 晃俊[2]・千葉 光一[1]

【有機微量分析研究懇談会】 J1013（15:30～16:30）液体クロマトグラフィーにおけるキャピラリーカラムの効果的な利用（岐阜大工）○竹内 豊英

第2日（9月13日）

座長　齋藤　伸吾

J2001（9:00～9:15）生体関連物質を高感度かつ高選択的に検出するための蛍光性磁気ビーズの開発（産総研）○鈴木 祥夫・黒澤 茂

J2002R（9:15～9:45）生体試料の指紋様応答パターンを出力する高分子群の設計（産総研バイオメディカル）○冨田 峻介

[PC設定時間]

座長　冨田　峻介

J2003R（9:55～10:25）DNAアプタマー選抜における分離・洗浄工程の重要性：微粒子導入型キャピラリー電気泳動の導入効果（東大院総合文化[1]・埼玉大院理工[2]）○吉本 敬太郎[1]・齋藤 伸吾[2]

J2004R（10:25～10:55）DNAアプタマーペアの電気泳動的選抜と高機能多価アプタマーの合理的設計（埼玉大院理工[1]・東大院総合文化[2]）○齋藤 伸吾[1]・吉本 敬太郎[2]

[PC設定時間]

座長　片山　佳樹

【分析試薬研究懇談会】 J2005（11:00～11:30）ナノ粒子を用いたバイオ分析（愛媛大院理工）○座古 保

【分析試薬研究懇談会】 J2006（11:30～12:00）診断・治療への展開を志向した多機能性金属錯体の創製（東北大院環境）○壹岐 伸彦

第3日（9月14日）

座長　井上　久美

J3001（9:00～9:15）チタン（IV）- 色素型錯体の微量過酸化水素に対する検出特性評価（東薬大[1]・東北大多元研[2]）○高村喜代子[1]・松本 高利[2]

J3002（9:15～9:30）2,2'-ビピリジン-3,3'-ジオール配位子を有する発光性新規Ir^{III}錯体によるAl^{3+}の選択的定量（早大院先進理工[1]・千葉工大工[2]）○鈴木 陽太[1]・水野 息吹[1]・田部井 唯[1]・藤岡 侑里[1]・菅谷 知明[2]・石原 浩二[1]

J3003（9:30～9:45）ナノチューブ液晶を鋳型に用いた界面活性剤フリー金ナノロッドの構築とイオン・キラルセンシング（産総研ナノ材料）○亀田 直弘・丁 武孝

[PC設定時間]

座長　川田　哲

【レアメタル分析研究懇談会】 J3004（9:55 ～ 10:25）LA-ICP-MSによる固体試料の直接分析（JFE-TEC）○井田 巖・坂下明子・望月 正・藤本 京子

【 K 会 場 】

第1日（9月12日）

座長　柏木　良友

K1001（9:30～9:45）スマートフォンと紙・フィルム・テープチップではかる、簡単・迅速なELISA代替キット（産総研）○渕脇 雄介・田中 正人・藤原 貴久・兼田 麦穂・山村 昌平

K1002（9:45～10:00）レーザー誘起蛍光法を用いた皮膚ガス中の活性酸素種計測法の開発（中部大生命健康科学[1]・中部大院生命健康科学[2]）○神野 直哉[1]・奥村 直也[2]・谷口 健太郎[1]・下内 章人[1]

K1003（10：00～10：15）多点認識分子インプリントポリマーによる腫瘍マーカープロテインの高感度検出（神戸大院工[1]・安田女子大薬[2]）○高野 恵里[1]・砂山 博文[1,2]・北山 雄己哉[1]・竹内 俊文[1]

K1004（10：15～10：30）抗体融合エクソソームインプリント薄膜による正常細胞とがん細胞由来エクソソームの識別（神戸大院工[1]・安田女子大薬[2]）森 貴翔[1]・砂山 博文[1,2]・北山 雄己哉[1]・○竹内 俊文[1]

［PC設定時間］

座長 井原 敏博

【2017年分析化学論文賞講演】 K1005（10：40～11：10）口腔がんのスクリーニングに関連するhTERT遺伝子のメチル化検出のための電気化学的ハイブリダイゼーションアッセイ（九工大院工[1]・九工大RCBT[2]・九歯大[3]）○竹中 繁織[1,2]・佐藤 しのぶ[1,2]・原口 和也[3]・早川 真奈[3]・冨永 和宏[3]

K1006R（11：10～11：40）選択的オートファジー：創薬ターゲットとなるか？（新潟大医）○小松 雅明

座長 鈴木 茂生

K1007（13：00～13：15）pH junction濃縮-ESI-MSによる損傷ヌクレオシドの高感度検出（岐阜薬大[1]・岐大院連合創薬[2]・愛知工大[3]）○江坂 幸宏[1,2]・藤井 智輝[1]・山本 拓平[1]・村上 博哉[3]・宇野 文二[1,2]

K1008（13：15～13：30）高感度CE-MS分析システムを用いた一細胞メタボローム分析（理研BDR）○川井 隆之・太田 亘俊・清水 義宏・田中 陽

K1009（13：30～13：45）高感度キャピラリー電気泳動分析システムを用いた微量糖鎖プロファイリング（理研BDR）○川井 隆之・太田 亘俊・田中 陽

K1010（13：45～14：00）グラジエント溶離－非水系キャピラリーゲル電気泳動による金属錯体の高性能分離（弘前大理工）○北川 文彦・佐藤 李香・奈良岡 礼朗・糠塚 いそし

［PC設定時間］

座長 末吉 健志

K1011（14：10～14：25）キャピラリー電気泳動による陰イオン及び陽イオンの高速同時分離の開発とヒト唾液試料中のイオン分析への応用（群馬大院理工[1]・群馬大院医[2]・群馬大教育[3]・高知大教育[4]）○坂本 翔[1]・村上 正巳[2]・青柳 啓介[1]・板橋 英之[1]・関 庸一[1]・葭田 明弘[2]・正保 佳史[2]・牛木 和美[2]・ララサティ マルタ[2]・新井 淑弘[3]・金子 伊樹[3]・森 勝伸[4]

K1012R（14：25～14：55）キャピラリー電気泳動によるリグニン分解酵素の活性測定（岡山大院自然）○金田 隆

［PC設定時間］

座長 北川 文彦

K1013R（15：05～15：35）デジタル電気泳動に基づく多次元電気泳動分画法の開発（阪府大院工）○末吉 健志

［PC設定時間］

座長 江坂 幸宏

【電気泳動分析研究懇談会】 K1014（15：50～16：50）極限濃度色素液体薄膜の開発と高感度・高速マイクロ分析デバイスへの展開（阪府大院工）○久本 秀明

第2日（9月13日）

座長 小野 哲也

K2001（9：00～9：15）光拡散媒体を用いた透過ラマン測定手法の検討（堀場テクノサービス分析技術セ[1]・堀場開発企画セ[2]）○磯 瑛司[1]・中田 靖[2]

K2002（9：15～9：30）ハイパースペクトラルカメラによる錠剤全数の主薬含量及びコーティング膜厚の同時測定とその評価（田辺三菱製薬工場[1]・阪電通大工[2]）○西井 崇[1,2]・松崎 勝洋[1]・森田 成昭[2]

K2003（9：30～9：45）熱脱着GC/MSを用いる食品中の添加薬物の分析（フロンティアラボ[1]・Diablo Analytical[2]・東北大[3]）○渡辺 壱[1]・岩井 逸子[2]・寺前 紀夫[1,3]

［PC設定時間］

座長 大塚 浩二

K2004R（9：55～10：25）ナノバイオデバイスとAIが拓く未来医療（名大院工[1]・名大院医[2]・名大先端ナノバイオ研[3]）○馬場 嘉信[1,2,3]

［PC設定時間］

座長 西本 右子

K2005（10：45～11：00）熱刺激電流測定によるエチレン-酢酸ビニル共重合体の分子運動評価とその応用（リガク）○細井 宜伸

【熱分析研究懇談会】 K2006（11：00～11：30）鋼材による熱膨張と電気抵抗の比較試験（アドバンス理工）○飯高 佑一・吉泉 麻帆・島田 賢次

第3日（9月14日）

座長 五十嵐 淑郎

K3001（9：30～9：45）分散微粒子抽出法（1）－原理と鉄（II）及びホルムアルデヒドの簡易分析への応用ー（富山大院理工（理）[1]・明大理工[2]）○小濵 望[1]・佐澤 和人[1]・波多 宣子[1]・倉光 英樹[1]・田口 茂[1]・岡崎 琢也[2]

K3002（9：45～10：00）イオン液体/水二相系におけるヨウ化物イオンの分配挙動（千葉大院理[1]・千葉大理[2]）○勝田 正一[1]・羅 允珠[2]

K3003（10：00～10：15）水溶液中のイオン液体生成反応を利用する色素の濃縮分離（甲南大理工）○茶山 健二・岡崎 弘奈・棚田 帆南・外山 真理・岩月 聡史

K3004（10：15～10：30）界面活性剤被覆ナノ磁性吸着剤による分散固相抽出を用いた有機有害物質の前濃縮（三重大院工[1]・三重大国際環境教育研究セ[2]）○岡田 拓美[1]・古川 真衣[1]・立石 一希[2]・勝又 英之[1]・金子 聡[1,2]

［PC設定時間］

座長 茶山 健二

K3005（10：40～10：55）筋弛緩剤の分析へのイオン液体マイクロ抽出系の応用（千葉県警科捜研[1]・千葉大院理[2]）○濵本 拓也[1,2]・勝田 正一[2]

K3006（10：55～11：10）Cu－プルシアンブルー@ナノダイヤによる希釈海水中セシウムの吸着除去（本田財団）○松本 和子

K3007R（11：10～11：40）環境技術に適合した新規固相抽出材の開発（金沢大理工）○長谷川 浩

【 L 会 場 】

第1日（9月12日）

座長　藤浪　眞紀

L1001（9：30～9：45）熱分解GC/MSを用いるポリマー添加剤の効率的ライブラリー検索（フロンティアラボ[1]・Diablo Analytical[2]・東北大[3]・名工大[4]）○松井 和子[1]・塩野 愛[1]・岩井 逸子[2]・渡辺 忠一[1]・寺前 紀夫[1,3]・大谷 肇[4]

L1002（9：45～10：00）タンデム型パイロライザー GC/MSによるバイオマスの熱分解における金属酸化物触媒効果の解析（名工大院工）○井田 寛人・大谷 肇

L1003（10：00～10：15）熱分解GC/MSシステムを用いる市販アクリル系粘着テープの分析（フロンティアラボ[1]・M&Wリサーチ[2]・東北大[3]）○青野 真依[1]・浅井 聡[2]・塩野 愛[1]・渡辺 忠一[1]・寺前 紀夫[1,3]

［PC設定時間］

座長　片野　肇

L1004（10：25～10：40）陽電子消滅法によるカーボンブラック含有イソプレンゴムの自由体積分析（千葉大院工[1]・京工繊大[2]・日産アーク[3]）○新葉 夢[1]・佐藤 智之[2]・辻本 祐二[2]・池田 裕子[2]・千葉 直道[3]・加藤 淳[3]・藤浪 眞紀[1]

L1005（10：40～10：55）加水分解効率を制御した反応熱分解分析法による共重合型ポリヒドロキシアルカノエートの2連子分布の解析（中部大応生）○石田 康行・加藤 広志朗・小島 貴大

［PC設定時間］

座長　石田　康行

【高分子分析研究懇談会】 L1006（11：00～12：00）環境科学に立脚した高分子の熱分解反応解析（東北大院環境）○熊谷 将吾

座長　藤井　健太

L1007（13：00～13：15）IR, CDおよびSANSでみるタンパク質のフォールディングに対するアルコールの効果（佐賀大理工[1]・佐賀大院工[2]・同志社大生命医[3]・総合科学研究機構[4]）○高椋 利幸[1]・原口 知也[2]・宝蔵寺 佑輔[1]・櫻井 裕之[2]・貞包 浩一朗[3]・岩瀬 裕希[4]

L1008（13：15～13：30）塩化マグネシウム水溶液中におけるマグネシウム加水分解反応（沼津高専）堀内 郁美・○藁科 知之

L1009（13：30～13：45）GPa領域の塩化カルシウム水溶液のミクロ構造（福岡大理[1]・原子力機構[2]）○山口 敏男[1]・西野 雅晃[1]・吉田 亨次[1]・服部 高典[2]

［PC設定時間］

座長　山口　敏男

L1010（13：55～14：10）イオン液体中における多分岐高分子のゲル化メカニズム：電気二重層キャパシタ用ゲル電解質への応用（山口大院創成科学）○吉武 真理・韓 智海・吉本 信子・森田 昌行・藤井 健太

L1011（14：10～14：25）2,2,2-トリフルオロエチルアセテートを溶媒としたLiイオン電池用電解液の溶液構造および電気化学特性（山口大院創成科学[1]・東ソーファインケム[2]）○上原 香織[1]・Yanko Todorov[1]・平山 大輔[2]・三村 英之[2]・吉本 信子[1]・藤井 健太[1]

L1012（14：25～14：40）嵩高いフッ素化溶媒を用いたLiイオン電池用濃厚電解液中の静的・動的構造特性（山口大院創成科学[1]・東ソーファインケム[2]）○十川 みちる[1]・Yanko Todorov[1]・平山 大輔[2]・三村 英之[2]・吉本 信子[1]・森田 昌行[1]・藤井 健太[1]

［PC設定時間］

座長　高椋　利幸

【溶液反応化学研究懇談会】 L1013（14：55～15：25）常温溶融錯体のイオン液体への分類とエネルギー貯蔵デバイスへの応用（横浜国大院工）○上野 和英

【溶液反応化学研究懇談会】 L1014（15：25～15：55）イオン溶媒和の構造化学とそれに基づくLi電池用電解液の機能設計（山口大院創成）○藤井 健太

第2日（9月13日）

座長　渡辺　忠一

L2001（9：00～9：15）ガスクロマトグラフィー水素炎イオン化検出器（GC-FID）測定などによるシランカップリング剤とシリカの反応解析（名工大院工[1]・住友ゴム工業[2]）○大石 佳穂[1]・大谷 肇[1]・山橋 友紀[2]・北浦 健大[2]・山田 宏明[2]

L2002（9：15～9：30）^{13}Cラベル化TMAH及び精密質量測定を用いた反応熱分解GCによるポリカーボネートの加熱変成過程の解析（名工大院工）○高橋 拓馬・大谷 肇

L2003（9：30～9：45）熱分解ガスクロマトグラフィー及びMALDI-MSを用いた硫化バルサム中の主要構成成分の化学構造解析（名工大院工[1]・ノリタケカンパニー[2]）○前野 吉秀[1]・大谷 肇[1]・吉見 考正[2]・山口 敏範[2]・中村 泰輔[2]

［PC設定時間］

座長　熊谷　将吾

L2004（9：55～10：10）熱脱着GC/MSを用いるフタル酸エステル類の高速分析（フロンティアラボ[1]・東北大[2]・名工大[3]）○塩野 愛[1]・渡辺 忠一[1]・渡辺 壱[1]・寺前 紀夫[1,2]・大谷 肇[3]

L2005R（10：10～10：40）ε-ポリリジンの用途展開に関する分析化学的研究（福井県大生物資源）○片野 肇

［PC設定時間］

座長　渡辺　壱

L2006（10：55～11：10）塩と水の共晶の融解過程に注目した微量成分濃縮法（神奈川大理）○荒井 健・西本 右子

L2007（11：10～11：25）栄養塩測定用海水標準物質（RMNS）のSIトレーサビリティ体系と認証方法について（環境総合テクノス[1]・海洋研究開発機構RCGC[2]・福島大環境放射能研[3]）○藤井 武史[1]・北尾 隆[1]・嶋本 晶文[1]・光田 均[1]・青山 道夫[2,3]・村田 昌彦[2]

L2008（11：25～11：40）海水中栄養塩標準物質をつかったIOC-CP-JAMSTEC主催の国際共同実験2014/15および2017/2018の結果（海洋研究開発機構RCGC[1]・福島大[2]）○青山 道夫[1,2]

【 N 会 場 】

座長　前田　瑞夫

【学会賞講演】 N2001（15：00～15：40）診断・創薬のための細胞シグナル測定法に関する研究（九大院工[1]・九大院システム生命[2]・九大先端医療イノベーションセ[3]・九大分子システムセ[4]・CYCU, Taiwan[5]）○片山 佳樹[1,2,3,4,5]

［PC設定時間］

座長　北森　武彦

【学会賞講演】 N2002（15：45～16：25）機能集積化マイクロ流体デバイスの開発と分析化学への応用（北大院工）○渡慶次 学

［PC設定時間］

座長　森　勝伸

【学会賞講演】 N2003（16：30～17：10）大気物質の動態を明らかにする分析化学（熊本大院先端理）○戸田 敬

【 Y 会 場 】

第1日（9月12日）

Y1001（9：45～11：15）アルキレン両末端にカチオン中心を持つ[Ni（dmit）2]錯塩の結晶構造（東理大院理）○石井 雄大・柿原 俊太・野元 邦治・宮村 一夫

Y1002（9：45～11：15）ポータブル全反射蛍光X線分析装置を用いた血清トランスフェリン鉄分析法の検討（東理大院工）○菅原 悠吾・国村 伸祐

Y1003（9：45～11：15）全視野型蛍光Ｘ線イメージング装置における直線型ポリキャピラリーの最適化と性能評価（阪市大院工[1]・京都市産技研[2]）○山内 葵[1]・山梨 眞生[1,2]・辻 幸一[1]

Y1004（9：45～11：15）共焦点微小部蛍光Ｘ線分析装置への単色Ｘ線源の導入と高速化への試み（阪市大院工[1]・リガク[2]）○三田 昇平[1]・河原 直樹[1,2]・辻 幸一[1]

Y1005（9：45～11：15）ポータブル全反射蛍光Ｘ線分析装置を用いた微量ビタミンB_{12}分析法の開発（東理大院工[1]・東理大工[2]）○徳岡 佳恵[1]・青野 海奈[2]・国村 伸祐[1,2]

Y1006（9：45～11：15）簡易な蛍光Ｘ線分析と2段階の線形判別分析を用いた5カ国（日本、中国、インド、スリランカ、台湾）の茶葉の原産地判別（阪教大）○横井 美穂・石田 晴香・久保埜 公二・横井 邦彦

Y1007（9：45～11：15）単細胞藻類を用いた有用メタルの蓄積機構の解明（東京電機大院工[1]・産総研物質計測標準[2]）○市之瀬 智生[1]・井戸 航洋[1]・保倉 明子[1]・熊谷 和博[2]・宮下 振一[2]・藤井 紳一郎[2]・稲垣 和三[2]

Y1008（9：45～11：15）パルスNMRを用いる油脂の核磁気横緩和時間測定（阪工大工）森内 隆代・○阪口 雄一・藤森 啓一

Y1009（9：45～11：15）^{19}F-NMRによる硫化水素測定のためのサイクレン誘導体の合成と評価（京都薬大）○播木 悠・武上 茂彦・小西 敦子・北出 達也

Y1010（9：45～11：15）^{1}H-NMRと主成分分析によるトウキの産地別パターン分析（京都薬大）○川本 直子・武上 茂彦・小西 敦子・中村 誠宏・松田 久司・北出 達也

Y1011（9：45～11：15）60GHzで動作するCMOS発振器アレイセンサによる小型で迅速な大腸菌検出（京大院農[1]・シャープ[2]・兵庫医大[3]）○鈴木 哲仁[1]・小川 雄一[1]・満仲 健[2]・山之上 雅文[2]・菊池 正二郎[3]

Y1012（9：45～11：15）直接電子伝達型と媒介電子伝達型グルコースバイオセンサの性能比較（芝浦工大[1]・産総研[2]・東洋紡[3]）○石田 和也[1]・鈴木 敦哉[1]・折原 耕平[1,2]・六車 仁志[1,2]・岩佐 尚徳[2]・平塚 淳典[2]・辻 勝巳[3]・岸本 高英[3]

Y1013（9：45～11：15）金ナノ粒子を用いたナノコンポジットフィルムの微生物適合性（阪府大院工）○齊藤 真希・富山 智大・大本 菜月・椎木 弘

Y1014（9：45～11：15）分子インプリントポリマーを用いたグルタチオンセンサーの定量性能および選択性能の評価（京都薬大）○小西 敦子・川越 晴加・増田 梨沙・武上 茂彦・北出 達也

Y1015（9：45～11：15）ポリチオフェンを活用した光学センサアレイの構築（東大生研）○佐々木 由比・張 舟傑・南 豪

Y1016（9：45～11：15）非標識バイオセンサ応用を指向した金ナノコーンアレイの作製とセンサ感度評価（阪府大院工[1]・JSTさきがけ[2]）○川崎 大輝[1]・山田 大空[1]・前野 権一[1]・末吉 健志[1]・久本 秀明[1]・遠藤 達郎[1,2]

Y1017（9：45～11：15）非標識バイオセンサを指向した先端開口型金ナノ構造の作製と光学特性評価（阪府大院工[1]・JSTさきがけ[2]）○井上 千種[1]・川崎 大輝[1]・山田 大空[1]・前野 権一[1]・末吉 健志[1]・久本 秀明[1]・遠藤 達郎[1,2]

Y1018（9：45～11：15）コラーゲン分解物をイオン化層としたナノ薄膜試験紙のタッチテストへの試行（長岡技科大工）○梶原 雅・高橋 由紀子

Y1019（9：45～11：15）尿中アルブミン/クレアチニン比の目視測定を目的とした紙基板分析デバイス（慶大院理工）○平岡 隆也・桑原 健人・山田 健太郎・蛭田 勇樹・Citterio, Daniel

Y1020（9：45～11：15）グルコースレセプター感受性近赤外吸収色素の設計と合成（富山大理工）○棚橋 祐斗・鷹羽 佑太・菅野 憲・遠田 浩司

Y1021（9：45 ～ 11：15）Closed bipolar electrode sensing system with integrated and liquid junction-free reference electrode（GSES, Tohoku University[1]・School of Eng., Tohoku University[2]）○Siti Masturah Fakhruddin[1]・井上（安田）久美[1]・都賀 亮人[2]・池川 未歩[1]・末永 智一[1,2]

Y1022（9：45～11：15）アントラセン骨格を有する新規ビスベンゾボロキソール型グルコースレセプターの合成と評価（富山大院理工(工)）○小林 美月・北山 和志・菅野 憲・遠田 浩司

Y1023（9：45～11：15）cyclam型配位子とTEMPO を用いた溶液中におけるAgイオンの化学変化（東理大理）○山﨑 衛・野元 邦治・宮村 一夫

Y1024（9：45～11：15）中性pH領域で作動するセンサ応答リセット用フォトクロミックポリマーの合成及び評価（富山大院理工）○津田 翔平・小竹 俊哉・菅野 憲・遠田 浩司

Y1025（9：45～11：15）ヘテロ原子含有カーボンナノドットの発光量子収率に対するリンおよびホウ素ドープの影響（東邦大院理[1]・東邦大理[2]）○矢部 駿[1]・平山 直紀[2]・森田 耕太郎[2]

Y1026（9：45～11：15）Boronic acid modified nanoparticle label for sugar chain（阪府大院工）○NGUYEN, QUANG DUNG・岩本 晃太・椎木 弘

Y1028（9：45～11：15）唾液中のNa^{+}, K^{+}, Ca^{2+}の同時定量可能な比色分析用紙基板デバイスの開発（慶大院理工）○末永 泰広・柴田 寛之・蛭田 勇樹・Citterio Daniel

Y1029（9：45～11：15）構造発色性ゲルを用いた生体分子を可視化検出するセンサーの開発（富山大院理工(工)）○桐山 絵美里・松本 浩平・菅野 憲・遠田 浩司

Y1030（9：45～11：15）長尺カーボンナノチューブ/カルボキシルメチルセルロース電極を用いる緑茶カテキンの個別成分の定量（芝浦工大[1]・日本資材[2]）○村上 知史[1]・高橋 翔太[1]・六車 仁志[1]・越阪部 奈緒美[1]・井上 均[2]・大澤 達也[2]

Y1031（9：45～11：15）非特異的吸着抑制を指向したPEGグラフト鎖を有するカチオン性ポリマー修飾TiO2フォトニック結晶の作製（阪府大院工）○戸田 樹・山田 大空・弓場 英司・遠藤 達郎・原田 敦史

Y1032（9：45～11：15）シッフ塩基ニッケル錯体の冷結晶化に関する研究（東理大理）○石川 徹・吉田 幸史・柿原 俊太・野元 邦治・宮村 一夫

Y1033（9：45～11：15）窒素架橋部にイソプロピル基を導入したsalen型錯体の熱挙動（東理大理）○坂口 幹・石川 徹・吉田 幸史・柿原 俊太・野元 邦治・宮村 一夫

Y1034（9：45～11：15）Ni（II）WPsalenアルコキシ誘導体の鎖長変化による熱的挙動の影響（東理大院理）○日暮 真也・野元 邦治・宮村 一夫

Y1035（9：45～11：15）アルキル基を導入した2-phenylindoleの熱的挙動（東理大院理）○蝋山 雄亮・野元 邦治・宮村 一夫

Y1036（9：45～11：15）芳香族アゾ色素化合物アルキル誘導体の熱的挙動（東理大理）○松本 和真・野元 邦治・宮村 一夫

Y1037（9：45～11：15）リアルタイム測定が可能なコンパクトディスク型蛍光検出システムの開発（首都大院都市環境[1]・東薬大薬[2]・メビウスAT[3]）○野条 拓矢[1]・森岡 和大[2]・辺見 彰秀[3]・曽 湖烈[1]・加藤 俊吾[1]・内山 一美[1]・中嶋 秀[1]

Y1038（9：45～11：15）導電性/非導電性水性二相流とMHD効果を組み合わせたマイクロフロー中における微粒子の輸送制御（名工大院工）○小池 理紗子・飯國 良規・大谷 肇

Y1039（9：45～11：15）μ-TAS用微小プラズマ励起源の放電電力制御を目的としたインバータ電源の開発（東工大未来産業技研）○吉田 真優子・末永 祐磨・沖野 晃俊

Y1040（9：45～11：15）並行多孔膜組み込みマイクロデバイスによる細胞遊走アッセイ（東洋大理工）○杉本 茉莉花・永富 凪花・佐々木 直樹

Y1041（9：45～11：15）無細胞マイクロ血管モデルを用いるナノ粒子の透過性評価（東洋大院理工[1]・東洋大理工[2]）○守谷 侑美[1]・紺野 仁美[2]・佐々木 直樹[1,2]

Y1042（9：45～11：15）疎水性色素液体：多種同時検出を指向した可溶性膜固定化マイクロ流路デバイスへの応用（阪府大院工）○水田 巽・末吉 健志・遠藤 達郎・久本 秀明

Y1043（9：45～11：15）オンチップ液体クロマトグラフィーのためのウォールジェット式電気化学検出器の開発（北大院総合化学[1]・北大院工[2]）○千川 晃生[1]・真栄城 正寿[2]・石田 晃彦[2]・谷 博文[2]・渡慶次 学[2]

Y1044（9：45～11：15）スギ・クリ花粉飛散の化学的モニタリング（熊本大院自然[1]・熊本大院先端[2]）○佐伯 健太郎[1]・溝口 竣介[1]・山崎 大[1]・前園 青也[1]・大平 慎一[2]・戸田 敬[2]

Y1045（9：45～11：15）試料濃縮針とガスクロマトグラフ－バリア放電イオン化検出器を用いた揮発性アミン類の分析（山梨大院工[1]・信和化工[2]）○藤川 尋斗[1]・中村 陽平[1]・藤村 耕治[2]・植田 郁生[1]

Y1046（9：45～11：15）レクチン固定化マイクロチップを用いた糖タンパク質の電気泳動分析の検討（群馬大院理工）○笠井 春佳・角田 欣一・佐藤 記一

Y1047（9：45～11：15）一本鎖DNAのキャピラリー電気泳動分離に基づくDNAメチル化検出の検討（福井大院工）○木村 祐輝・橋谷 一行・髙橋 透

Y1048（9：45～11：15）間葉系幹細胞精製を目的とした温度応答性固相抽出カラムの開発（慶大薬）○枝常 吾郎・永田 勇貴・長瀬 健一・金澤 秀子

Y1049（9：45～11：15）水溶液中のイオン液体生成を利用した鉄イオンの定量（甲南大理工）○井上 優輝・犬飼 雅・外山 真理・岩月 聡史・茶山 健二

Y1050（9：45～11：15）イオン液体三相抽出系に基づく鉄の価数分離におけるチオシアン酸イオンの効果（東邦大理）○戸井田 美月・森田 耕太郎・平山 直紀

Y1051（9：45～11：15）シリカ薄膜への多環芳香族炭化水素の固相抽出における構造指向剤の効果（弘前大院理工）○佐藤 遼太・北川 文彦・糠塚 いそし

Y1052（9：45～11：15）中性配位子ビス（2-ピリジルメチル）アミンによるイオン液体への二価遷移金属イオンの抽出（東邦大理）○川島 伊織・森田 耕太郎・平山 直紀

Y1053（9：45～11：15）イオン液体塩化トリオクチルアンモニウムを用いた塩酸溶液からのルテニウムの抽出（千葉大院融合理工[1]・千葉大院理[2]）○千田 宏幸[1]・勝田 正一[2]

Y1054（9：45～11：15）セルロースジアセテートを基材としたPolymer Inclusion Membraneによるチオシアン酸イオンの固相抽出分離（富山大学院理工(工)[1]・The University of Melbourne[2]）○賓福 拓未[1]・源明 誠[1]・加賀谷 重浩[1]・Cattrall Robert W.[2]・Kolev Spas D.[2]

Y1055（9：45～11：15）色素導入型含ホウ素CTG誘導体の認識能評価（阪工大工）森内 隆代・○井上 翼・藤森 啓一

Y1056（9：45～11：15）キノリニル基をもつベンゼントリアミドの塩基性芳香族分子に対する認識能の評価（阪工大工）森内 隆代・○河村 陸・藤森 啓一

Y1057（9：45～11：15）バナジウム錯体をイオノフォアとするイオン選択性電極のアニオン選択性評価の検討（阪工大工）森内 隆代・○東角 彰久

Y1058（9：45～11：15）pyrene導入型CTG誘導体のアミン類に対する分子識別能の評価（阪工大工）森内 隆代・○松原 昌大・藤森 啓一

Y1059（9：45～11：15）刺激応答型蛍光性金ポリマーの創製とそれを用いる生体高分子および界面活性剤の分析（宇都宮大院工）○増渕 由樹・上原 伸夫

Y1060（9：45～11：15）含窒素環状化合物をイオノフォアとするイオン選択性電極のカチオンに対する識別能評価（阪工大工）森内 隆代・○鳥越 なつみ・藤森 啓一

Y1061（9：45～11：15）ナノキャビティを有する電気化学デバイスを用いたエンドトキシンの高感度検出（東北大院環境[1]・東北大院工[2]）○伊藤 健太郎[1]・井上（安田）久美[1]・伊野 浩介[2]・珠玖 仁[2]

Y1062（9：45～11：15）テノイルトリフルオロアセトンを用いた二価金属イオンのイオン液体キレート抽出におけるイオン液体カチオンの水素結合能の効果（東邦大理）○宮島 麻都香・森田 耕太郎・平山 直紀

Y1101（15：00～16：30）低出力レーザーと誘導結合プラズマを用いた表面付着物の無機分析（東工大未来産業技研[1]・関学大理工[2]・東大院理[3]）○岡本 悠生[1]・吉田 真優子[1]・河野 聡史[1]・岩井 貴弘[2]・宮原 秀一[3]・平田 岳史[3]・千葉 光一[2]・沖野 晃俊[1]

Y1102（15：00～16：30）小型抽出管を用いたパージトラップ法による液体試料中のギ酸のイオンクロマトグラフィー分析（山梨大院工）○梶本 雅之・植田 郁生

Y1103（15：00～16：30）ポリマーモノリス充填カラムによる大腸菌抽出能の評価（京大院農）○澤 昂志・近藤 直・小川 雄一・鈴木 哲仁

Y1104（15：00～16：30）金ナノ粒子/セルロースナノファイバ複合膜の構造に関する考察（阪府大院工）○富山 智大・齊藤 真希・椎木 弘

Y1105（15：00～16：30）ケルビンプローブフォース顕微鏡による半導体キャリア濃度の定量性評価（産総研）○本田 暁紀・井藤 浩志

Y1106（15：00～16：30）水表面におけるリキッドマーブルの自走機構（千葉大院工[1]・東大院総合文化[2]）○豊福 健[1]・Chiari, Luca[1]・豊田 太郎[2]・野本 知理[1]・藤浪 眞紀[1]

Y1107（15：00～16：30）オキシエチレン類に誘起される金ナノ粒子の生成とそれに基づくチオール化合物の分析（宇都宮大院工）○岩松 翼・上原 伸夫

Y1108（15：00～16：30）SnS_2二次元薄膜における水素発生反応のナノスケール電気化学イメージング（東北大院環境[1]・東北大AIMR[2]・東北大院工[3]・埼玉大院理工[4]・金沢大WPI-NanoLSI[5]）○小川 寛人[1]・熊谷 明哉[1,2]・上野 啓司[4]・井田 大貴[1]・高橋 康史[5]・末永 智一[1]・珠玖 仁[3]

Y1109（15：00～16：30）水中色素の高効率気泡浮選（北見工大院工[1]・北見工大工[2]）○大岩 真子[1]・駒井 しおり[2]・藤森 鴻平[1]・齋藤 徹[2]

Y1110（15：00～16：30）半導体ナノ構造を用いた新奇光ピンセット法の開発：高分子ナノ粒子の大量捕捉の実証（阪市大院理[1]・Swinburne University of Technology[2]）○河本 紗和[1]・東海林 竜也[1]・Saulius, Juodkazis[2]・坪井 泰之[1]

Y1111（15：00～16：30）超音波浮揚を用いたDNAのラベルフリー検出（東工大理院）○宮川 晃尚・原田 誠・岡田 哲男

Y1112（15：00～16：30）金電極に形成したメソポーラスアルミナ膜の酵素センサー応用（茨城大学理）○片山 知哉・渋屋 祐太・山口 央

Y1113（15：00～16：30）サイズの異なるシリカメソ細孔内DNA二重鎖の構造安定性（茨城大理）○新井 翔太・増田 翼・小林沙弥華・鈴木 宗太郎・渋屋 祐太・山口 央

Y1114（15：00～16：30）Cyclam型大環状配位子を用いた銀ナノ粒子の形成（東理大理）○勝間 咲紀・水上 眞琴・野元 邦治・宮村 一夫

Y1115（15：00～16：30）レーザー捕捉・光退色後蛍光回復法による単一多孔質微粒子/溶液系における物質移動過程の検討（筑波大院数理物質）○本間 廉・秦 克弥・中谷 清治

Y1116（15：00～16：30）サブマイクロメートルサイズの単一エアロゾル粒子のレーザー捕捉に関する研究（広島大院理）○近末 幸希・中川 真秀・石坂 昌司

Y1117（15：00～16：30）UPLC-Q-TOFMSによる生分解性キレート剤分解挙動の解析（金沢大院自然[1]・石川県警科捜研[2]・金沢大理工[3]）○吹上 祥平[1]・Sohag Miah[1]・齋藤 誠[1]・村上 貴哉[1,2]・地中 啓[2]・真塩 麻彩実[3]・牧 輝弥[3]・長谷川 浩[3]

Y1118（15：00 ～ 16：30）Detection of dimethyl sulfur compounds from ice-covered Lake Baikal water and confirmation of their existence（熊本大院自然[1]・Limnological Inst[2]・熊本大理[3]・熊本大院先端[4]）○岡根 大記[1]・Obolkin Vladimir[2]・田嶋 晃也[3]・光石 夏澄[1]・平 美咲[1]・前園 青也[3]・Bondarenko Nina[2]・Volkiva Ekaterina[2]・Kuzmin Anton[2]・大平 慎一[4]・戸田 敬[4]

Y1119（15：00～16：30）大気の吸湿性粒子内におけるカルボニル類濃度の推定（熊本大院自然[1]・熊本大院先端[2]）○光石 夏澄[1]・岩崎 真和[1]・大平 慎一[2]・戸田 敬[2]

Y1120（15：00～16：30）海水からサンゴ礁共生生物イソギンチャク褐虫藻及び軟体組織への生体必須微量金属元素摂取プロセスの検討（麻布大院環境保健[1]・麻布大生命環境[2]）○安部沙也伽[1]・中西 隆志[1]・藤ヶ崎 将也[2]・大木 拓也[2]・中野 和彦[2]・稲葉 一穂[2]・伊藤 彰英[2]

Y1121（15：00～16：30）化学発光法による水中アンモニウムイオンの連続測定（阪府大人社シス）○芝 拓海・竹中 規訓

Y1122（15：00～16：30）キレート固相抽出法を併用したICP-MS法による
都市域河川水中希土類元素及びその他レアメタルの多元素プロファイリングアナリシス（麻布大院環境保健[1]・麻布大生命環境[2]・麻布大獣医[3]）○八井田 朱音[1]・大塚 理子[1]・山田 安咲紀[2]・中野 和彦[2]・松井 久美[3]・関本 征史[2]・稲葉 一穂[2]・伊藤彰英[2]

Y1123（15：00～16：30）3-アミノプロピルトリエトキシシラン（APTES）により表面をアミノ基修飾させた活性炭による水溶液中からの銅イオンの除去（新潟大院自然研[1]・新潟大工[2]）○花本 光司[1]・狩野 直樹[1]・宮本 直人[2]

Y1124（15：00～16：30）福島県内の各地域における$^{134}Cs/^{137}Cs$の放射能比の相違と放出原子炉の推定（日大院工[1]・日大工[2]）○大水 優希[1]・大内 隆[2]・貝瀬 紗衣[2]・園部 太知[2]・佐藤 健二[2]

Y1125（15：00～16：30）Environmental analysis of organic and inorganic pollutants on coasts around Tokyo Bay（Toho University Faculty of Science） ○Michel Grimbergen・Atsuko Nishigaki

Y1126（15：00～16：30）干潟環境中での多環芳香族炭化水素の分布と挙動（東邦大）○安倍 聡史・西垣 敦子

Y1127（15：00～16：30）分光光度計及びHPLCを用いた3-ニトロベンズアントロンの分析法の開発（東邦大[1]・都立産技研セ[2]）○布施 諒[1]・藤巻 康人[2]・齋藤 敦子[1]・大島 茂[1]

Y1128（15：00～16：30）次亜塩素酸水溶液中の活性酸素種に対する調製条件の影響（神奈川大理）○杉原 敏雄・水島 拓樹・西本 右子

Y1129（15：00～16：30）界面活性剤修飾キトサンビーズを用いた水溶液中のCrの吸着法の検討（新潟大院自然研）○喜嶋 千裕・狩野 直樹・宮本 直人

Y1130（15：00～16：30）海洋大型藻類におけるヒ素の生体内濃縮と化学種変化（金沢大院自然[1]・金沢大理工[2]）○大森 圭記[1]・山本 翔太[1]・真塩 麻彩美[2]・牧 輝弥[2]・三木 理[2]・長谷川浩[2]

Y1131（15：00～16：30）バイオディーゼル燃料の合成反応に及ぼす「ホタテ貝殻焼成触媒」のメタノール浸漬処理の影響（旭川高専）○姉帶 一樹・古崎 睦

Y1132（15：00～16：30）食品中のオクラトキシンAの簡易スクリーニング法の開発（中部大[1]・堀場[2]）○福井 美葵[1]・岡 紋乃[1]・白井 晃弘[1]・内ヶ島 美岐子[2]・河野 猛[2]・山本 敦[1]・山本良平[1]

Y1133（15 : 00 ～16 : 30）プレカラム誘導体化法による柑橘類中シネフリンのキラルHPLC分析（東海大理[1]・中部大応生[2]・富山大理工学研究[3]・近畿大薬[4]・ジーエルサイエンス[5]）○田中 壮平[1]・山本 敦[2]・會澤 宣一[3]・多賀 淳[4]・寺島 弘之[5]・小玉 修嗣[1]

Y1134（15 : 00 ～16 : 30）試料の酵素分解によるビピリジニウム系除草剤の抽出法（中部大応生[1]・東海大理[2]・食品分析開発セSUNATEC[3]）○小出 高羅[1]・大和 直樹[1]・八木 啓介[1]・菊川 浩史[3]・小玉 修嗣[2]・山本 良平[1]・山本 敦[1]

Y1135（15 : 00 ～16 : 30）精密農業に必要な圃場カルテ作成のための肥料成分分析における平面分解能の検討（北見工大）○谷 友里江・中島 健・宇都 正幸

Y1136（15 : 00 ～16 : 30）マルチステップ反応熱分解GCによる伝統和式カーペット「油団」の物性発現メカニズムの解明（中部大応生）○古田 汐里・服部 由実・石田 康行

Y1137（15 : 00 ～16 : 30）塩及びポリエチレングリコールを含有するメチルセルロースヒドロゲルのゲル化過程と水の状態（神奈川大理）○持田 茂樹・中野 怜・西本 右子

Y1138（15 : 00 ～16 : 30）誘導体化LC-MS/MS法を用いた化学剤分解物の分析（科警研[1]・東大院薬[2]・理研[3]）○大塚 麻衣[1,2,3]・栢 浩一郎[1]・宮口 一[1]・瀬戸 康雄[1]・内山 真伸[2,3]

Y1139（15 : 00 ～16 : 30）呼気によるTDMのための内因性指標物質の探索　―機器分析と生化学的手法を用いた測定法の確立―（中部大応生[1]・名大院医[2]）○日下部 純平[1]・岩出 真歩[1]・谷畑 壮磨[1]・山本 良平[1]・山本 敦[1]・松島 充代子[2]・川部 勤[2]

Y1140（15 : 00 ～16 : 30）特異体質性薬物毒性のマーカー探索を目的とした反応性代謝物付加体のLC/ESI-MS/MS（東北大薬[1]・東北大院薬[2]）○小澤 真史[2]・久保 貴史[1]・李 宣和[1,2]・大江 知行[1,2]

Y1141（15 : 00 ～16 : 30）脂質過酸化物由来のタンパク質修飾スクリーニング法に関する研究：安定同位元素標識脂質と同位体パターン特異的MS/MS解析（東北大院薬）○越 遼貴・高橋 亮・李 宣和・大江 知行

Y1142（15 : 00 ～16 : 30）血漿中N末端α-ケトアミド型アンジオテンシン類のLC/ESI-SRM/MS法の開発（東北大院薬）○池田 真人・横田 涼・李 宣和・大江 知行

Y1143（15 : 00 ～16 : 30）化学イオン化タンデム質量分析によるブフェドロン類位置異性体の識別（阪大院工[1]・阪大環境安全セ[2]）○保久 友宏[1]・川原 航大[1]・角井 伸次[1,2]・鈴木 至[1,2]・芝田 育也[1,2]

Y1144（15 : 00 ～16 : 30）法科学応用を目的とした国内コンビニエンスストア設置型複写機用トナーの識別（東理大）○久保 祐介・阿部 善也・中井 泉

Y1145（15 : 00 ～16 : 30）化学修飾アミロイドβの凝集とプロテアーゼ抵抗性の評価（東北大薬[1]・東北大院薬[2]）○笹本 和之[1]・嘉藤 大[1]・李 宣和[1,2]・大江 知行[1,2]

Y1146（15 : 00 ～16 : 30）LC/ESI-MS/MSによるヒト表皮ケラチン上の化学修飾解析法の開発（東北大薬[1]・東北大院薬[2]）○川瀬 士瑛[1]・廣嶋 祐亮[1]・李 宣和[1,2]・大江 知行[1,2]

Y1147（15 : 00 ～16 : 30）Paal-Knorr反応を用いたタンパク質・ペプチドの標識：反応性と分光学的特性の基礎的検討（東北大院薬）○佐藤 武・大江 知行・李 宣和

Y1148（15 : 00 ～16 : 30）血中ATPと乳酸を指標とする重症度診断のための電気化学酵素センサーの開発（北大院総合化学[1]・北大院工[2]）○水上 良平[1]・真栄城 正寿[2]・石田 晃彦[2]・谷 博文[2]・渡慶次 学[2]

Y1149（15 : 00 ～16 : 30）原発性アルドステロン症検査のための微小粒子を用いたイムノアッセイの検討（東北大院環境[1]・東北大院工[2]・WPI-AIMR[3]）○木内 亮汰[1]・佐藤 さつき[1]・伊藤 健太郎[1]・井上 久美[1]・藪 浩[3]・伊野 浩介[2]・末永 智一[1]・珠玖 仁[2]

Y1150（15 : 00 ～16 : 30）低温加熱および減圧条件を用いた金属ナノ粒子作製法の開発（東理大工[1]・東理大院工[2]）○梅田 裕貴[1]・岡本 亮大[2]・国村 伸祐[1,2]

Y1151（15 : 00 ～16 : 30）鉄（III）と白金コロイドを用いる水素の吸光光度定量（工学大院工）○小澤 尚紀・釜谷 美則

第2日（9月13日）

Y2001（9 : 45 ～11 : 15）食の分野におけるSERSの利用：TLC-SERS（東洋大生命科学[1]・東洋大バイオナノ研究セ[2]）○井出 光一[1]・廣瀬 和樹[1]・竹井 弘之[1,2]

Y2002（9 : 45 ～11 : 15）多田銀銅山周辺環境におけるヒ素及びヒ素化合物のスピシエーション分析（関学大理工）○森 大地・一瀬 陸・今西 彩乃・岡本 淳・岩井 貴弘・成川 知弘・壷井 基裕・千葉 光一

Y2003（9 : 45 ～11 : 15）単一iPS細胞中微量元素分析のための試料導入法の検討（東工大未来研[1]・関学大理工[2]・東工大先導原子力[3]・東大理[4]）○河野 聡史[1]・三宅 智子[1]・岡本 悠生[1]・岩井 貴弘[2]・島田 幹男[3]・宮原 秀一[4]・松本 義久[3]・千葉 光一[2]・沖野 晃俊[1]

Y2004（9 : 45 ～11 : 15）大気圧Heマイクロプラズマによる水素燃料ガス中のイオウ不純物分析装置の開発（関学大理工[1]・ヤナコ計測[2]・東工大未来研[3]・エスアンドエーラボ[4]・東大院理[5]）○御船 星[1]・岡田 将太[1]・岩井 貴弘[1]・松田 敬子[2]・森川 正己[4]・宮原 秀一[5]・沖野 晃俊[3]・千葉 光一[1]

Y2005（9 : 45 ～11 : 15）量子収率依存的な表面増強蛍光効果の比較評価（東洋大生命科学[1]・東洋大バイオナノ研究セ[2]）○草場 勇哉[1]・小林 尚樹[1]・竹井 弘之[1,2]

Y2006（9 : 45 ～11 : 15）*o*-ブロモフェニルフルオロンを用いた銅（II）の蛍光光度定量法について（阪薬大[1]・サエラ薬局[2]・大阪信愛女学院[3]）○末廣 春佳[1]・浜田 まどか[1]・山口 敬子[1]・藤田 芳一[1,2,3]・松村 人志[1]・島本 史夫[1]

Y2007（9 : 45 ～11 : 15）シクロデキストリンポリマーを濃縮と蛍光測定の場として用いるSe（IV）の高感度分析法（新潟大院[1]・新潟大理[2]・福岡教大教育[3]・九大院[4]）○六原 直哉[1]・松岡 史郎[2]・宮崎 義信[3]・吉村 和久[4]

Y2008（9 : 45 ～11 : 15）胃の組織片を用いた通常および腫瘍組織におけるラマンスペクトルの比較（日大院工[1]・日大工[2]）○赤間 佑希[1]・沼田 靖[2]・田中 裕之[2]

Y2009（9 : 45 ～11 : 15）ラマン分光法による還元型および酸化型ビタミンCの定量分析（日大院工[1]・日大工[2]）○古澤 弘智[1]・沼田 靖[2]・田中 裕之[2]

Y2010（9 : 45 ～11 : 15）金コロイドサイズがおよぼすSERSピーク強度変化（日大院工[1]・日大工[2]）○長鈴 知樹[1]・沼田 靖[2]・田中 裕之[2]

Y2011（9：45～11：15）リアルタイム局在表面プラズモン共鳴（LSPR）センサーによる抗体の品質評価検討：熱変性によるモデル実験（東洋大院生命科学[1]・東洋大生命科学[2]・東洋大バイオナノ[3]）○原口 はづき[1]・竹井 弘之[2,3]

Y2012（9：45～11：15）赤外光音響分光法（FT-IR/PAS）による総トランス脂肪酸の簡易分析法（日大院工[1]・日大工[2]）○服部 修次[1]・沼田 理玖[2]・古川 和宏[2]・佐藤 健二[2]

Y2013（9：45～11：15）各種違法薬物の呈色識別法の検討（日大院工[1]・日大工[2]）○中塚 豪章[1]・情野 達也[2]・久野 凌[2]・小松奈緒[2]・佐藤 健二[2]

Y2014（9：45～11：15）赤外光導波路を用いた水中溶存二酸化炭素の検出（神戸大院海事[1]・紀本電子[2]・群馬大院理工[3]）○孟 広治[1]・堀田 弘樹[1]・紀本 岳志[2]・角田 欣一[3]

Y2015（9：45～11：15）酵素反応生成物のSERS検出に関する測定プロトコールの開発（東洋大院生命科学[1]・東洋大生命科学[2]・東洋大バイオナノ研セ[3]）○山口 洋[1]・竹井 弘之[2,3]

Y2016（9：45～11：15）農作物表面の残留農薬検出用の新規SERS基板の作製：ナノ銀樹のSERS応用（東洋大院生命科学[1]・東洋大生命科学[2]・理研[3]・東洋大バイオナノ研セ[4]）○星野 翔平[1]・米田 真吾[1]・落合 悠太[2]・岡本 隆之[3]・竹井 弘之[1,4]

Y2017（9：45～11：15）スラブ光導波路上の脂質二分子膜中の色素の配向の研究（群馬大院理工）○上岡 拓弥・西脇 拓哉・佐藤 記一・角田 欣一

Y2018（9：45～11：15）パラジウム（II）と*o*-スルホフェニルフルオロンを用いる生体活性化合物の測定法について（阪薬大[1]・サエラ薬局[2]・大阪信愛女学院[3]）○木原 愛美[1]・山口 敬子[1]・藤田 芳一[1,2,3]・松村 人志[1]・島本 史夫[1]

Y2019（9：45～11：15）蝶鱗粉のナノ構造を活用したSERS基板：特徴と課題（東洋大院生命科学[1]・東洋大生命科学[2]・東洋大バイオナノ研究セ[3]・University of Bielefeld[4]）○長田 一輝[1]・竹井 弘之[2,3]・Natalie Frese[4]・Almin Gölzhäuser[4]

Y2020（9：45～11：15）2,4-ジヒドロキシベンゾイル安息香酸と蛍光反応する生理活性物質の検討（阪薬大[1]・サエラ薬局[2]・大阪信愛女学院[3]）○結城 満莉乃[1]・鳥居 諒平[1]・山口 敬子[1]・藤田 芳一[1,2,3]・松村 人志[1]・島本 史夫[1]

Y2021（9：45～11：15）*o*-カルボキシフェニルフルオロンと鉄（II）を用いる過酸化脂質と過酸化水素の吸光光度定量法について検討した（阪薬大[1]・サエラ薬局[2]・大阪信愛女学院[3]）○浅田 翔太[1]・佐藤 翔一[1]・山口 敬子[1]・藤田 芳一[1,2,3]・松村人志[1]・島本 史夫[1]

Y2022（9：45～11：15）レゾルシノールとの縮合反応を利用するエステル類の発蛍光反応について（阪薬大[1]・サエラ薬局[2]・大阪信愛女学院[3]）○野浦 梓[1]・久保田 望海[1]・山口 敬子[1]・藤田芳一[1,2,3]・松村 人志[1]・島本 史夫[1]

Y2023（9：45～11：15）キサンテン系色素を用いる希土類金属の吸光光度定量法について（阪薬大[1]・サエラ薬局[2]・大阪信愛女学院[3]）○戸塚 藍子[1]・山口 敬子[1]・藤田 芳一[1,2,3]・松村 人志[1]・島本 史夫[1]

Y2024（9：45～11：15）キサンテン系色素-金属錯体とカテコールアミン誘導体の吸光光度定量法について（阪薬大[1]・サエラ薬局[2]・大阪信愛女学院[3]）○斎藤 瑞希[1]・山口 敬子[1]・藤田 芳一[1,2,3]・松村 人志[1]・島本 史夫[1]

Y2025（9：45～11：15）水|低比誘電率有機溶液界面でのイオン移動ボルタンメトリー（龍谷大理工）○山村 亮太・増田 健也・糟野 潤

Y2026（9：45～11：15）ニッケルイオンの電気化学分析における電極システムの探査（龍谷大理工）○横谷 憲・糟野 潤

Y2027（9：45～11：15）パラジウムナノ粒子の合成過程における塩化パラジウム錯体の配位子置換反応（龍谷大理工[1]・量研機構[2]）○金山 雄斗[1]・上原 章寛[2]・今井 崇人[1]・糟野 潤[1]

Y2028（9：45～11：15）高解像度イメージングに向けたClosedバイポーラー電極アレイの開発（東北大院環境）○岩間 智紀・井上 久美・阿部 博弥・末永 智一

Y2029（9：45～11：15）ビスマスフィルム電極を用いたPb（II）のASVにおけるCu（II）の妨害とカルボン酸添加による妨害緩和効果（阪教大）○松多 展明・久保埜 公二・横井 邦彦

Y2030（9：45～11：15）大気中光電子収量分光装置を用いた有機半導体材料の固体・薄膜状態でのエネルギー準位の測定法（都産技研[1]・東大院工[2]・中国科技大[3]）○小汲 佳祐[1]・藤巻 康人[1]・中川 貴文[2]・松尾 豊[2,3]

Y2031（9：45～11：15）分子鋳型法を用いた親水性アミノ酸認識手法の開発（九大院総合理工）○山崎 達郎・石岡 寿雄・原田明

Y2032（9：45～11：15）スパッタカーボン薄膜電極の超親水化による表面汚染フリー生体適合電極の開発（埼玉工業大学[1]・産業技術総合研究所[2]）○太田 早紀[1]・芝 駿介[1,2]・矢嶋 龍彦[1]・鎌田 智之[2]・加藤 大[2]・丹羽 修[1]

Y2033（9：45～11：15）イオンの電量測定用使い捨て電気化学デバイスの開発（京工繊大院工芸科学）○辰巳 史帆・日下部 瑛美・吉田 裕美・前田 耕治

Y2034（9：45～11：15）空間的に分離したイオンと電子の膜透過共役を律する電気化学的要因（京工繊大院工芸科学[1]・東北大多元研[2]）○南井 一志[1]・棟安 研介[1]・福山 真央[2]・吉田 裕美[1]・前田 耕治[1]

Y2035（9：45～11：15）ホルマザンの電気化学特性に基づいた細菌検出法の開発（阪府大院工）○石木 健吾・森下 綾・椎木弘・長岡 勉

Y2036（9：45～11：15）電気化学ハイドロゲルプリンティングにより構築した細胞足場内での細胞培養評価（東北大院工）○平典子・伊野 浩介・梨本 裕司・珠玖 仁

Y2037（9：45～11：15）水素貯蔵合金表面におけるナノ電気化学イメージング（東北大院[1]・東北大AIMR[2]・金沢大WPI-NanoLSI[3]・JST-PRESTO[4]）○安永 幹生[1]・熊谷 明哉[1,2]・田中元基[1]・高橋 康史[3,4]・末永 智一[1]・珠玖 仁[1]

Y2038（9：45～11：15）ニッケルフォームから作製したFexNi1-xOOH電極のエタノールおよび水酸化活性の評価（山口大工[1]・山口大院創成科学[2]）○丸川 竜一[1]・岡田 拓弥[2]・鈴木 かのん[2]・中山 雅晴[2]

Y2039（9：45～11：15）フィードバック制御フローレイショメトリーによるプロセス分析と制御（徳島大院薬[1]・徳島大院医歯薬(薬)[2]）○柿内 直哉[1]・竹内 政樹[2]・田中 秀治[2]

Y2040（9：45～11：15）液相分離法を用いたπ共役系芳香族分子の分子認識機構の解明（京大院工）○金尾 英佑・内藤 豊裕・久保 拓也・大塚 浩二

Y2041（9：45～11：15）電場と膜透過による光学分割の基礎検討（熊本大院自然[1]・熊本大院先端[2]）○堀内 一希[1]・大平 慎一[2]・戸田 敬[2]

Y2042（9：45～11：15）温度応答性カラムを用いたCYP基質薬物の一斉分析の検討（慶大院薬）○岡本 直也・前川 祐太朗・長瀬 健一・金澤 秀子

Y2043（9：45～11：15）カチオン性－温度応答性混合高分子ブラシを用いた温度制御によるタンパク質精製法の開発（慶大薬）○北澤 早紀子・長瀬 健一・金澤 秀子

Y2044（9：45～11：15）222 nm光源による硝酸・亜硝酸イオンの光化学反応（鹿児島大院理工）○久保 翔太郎・児玉谷 仁・神崎 亮・冨安 卓滋

Y2045（9：45～11：15）石炭抽出物の分子量測定―GPC測定―（新日鉄住金先端研）○畑 友輝・金橋 康二

Y2046（9：45～11：15）逆相高速液体クロマトグラフィーによるチオラート保護合金クラスターの精密分離と物性評価（東理大院理）○橋本 彩加・渡邉 誠一郎・新堀 佳紀・藏重 亘・根岸 雄一

Y2047（9：45～11：15）高速液体クロマトグラフィーを用いたAβ凝集体の分離分析（日大院生産工[1]・日大生産工[2]）○長嶋 恭介[1]・朝本 紘充[2]・中釜 達朗[2]・齊藤 和憲[2]・南澤 宏明[2]

Y2048（9：45～11：15）水溶液担持固定相におけるキラル認識機構（東工大理学院）○下平 真菜・原田 誠・岡田 哲男

Y2049（9：45～11：15）イオン液体中におけるポリアクリル酸被覆ナノ粒子の凝集－再分散のpH応答（鹿児島大院理工）○酒匂 美夏・児玉谷 仁・神崎 亮・冨安 卓滋

Y2050（9：45～11：15）交差反応性蛍光色素アレイ：応答パターンを利用する生体試料センシング（筑波大院・数理物質[1]・産総研バイオメディカル[2]）○三村 真大[1,2]・冨田 峻介[2]・栗田 僚二[1,2]・白木 賢太郎[1]

Y2051（9：45～11：15）微細加工チップ中に形成した脂質二分子膜への無細胞合成イオンチャネルの包埋と薬物副作用評価の定量（東北大電気通信研[1]・東北大学際研[2]・埼玉大院理工学[3]・東北福祉大[4]・東北大学AIMR[5]）○横田 澪央[1]・加藤 美生[1]・吉田 美優[1]・山浦 大地[1]・荒田 航平[1]・但木 大介[1]・山本 英明[2]・戸澤 譲[3]・庭野 道夫[4]・平野 愛弓[1,5]

Y2052（9：45～11：15）微小電極集積デバイスを用いた幹細胞の酵素活性と代謝活性の同時測定（東北大院工）○小野寺 岳大・伊野 浩介・梨本 裕司・珠玖 仁

Y2053（9：45～11：15）電気化学を用いて生成した生体適合性ハイドロゲルの機能評価（東北大院環境[1]・東北大院工[2]・東北大学際研[3]）○熊谷 樹[1]・伊野 浩介[2]・松本 知明[2]・平 典子[2]・梨本 裕司[2,3]・珠玖 仁[2]

Y2054（9：45～11：15）インクジェット液滴を用いたオンラインデジタルPCR（首都大院都市環境）○古賀 大介・Weifei Zhang・Hulie Zen・中嶋 秀・内山 一美

Y2055（9：45～11：15）電気化学アトシリンジを用いたMCF-7細胞塊の局所遺伝子解析（東北大院工[1]・東北大院環境[2]・東北大学際科学フロンティア研[3]）○越後 雅邦[1]・梨本 裕司[1,3]・伊野 浩介[1]・末永 智一[2]・珠玖 仁[1]

Y2056（9：45～11：15）SECM-SICMを用いた酵素反応検出（東北大院工[1]・東北大学際[2]・東北大AIMR[3]・東北大院環境[4]・金沢大[5]・JSTさきがけ[6]）○中村 拓生[1]・伊野 浩介[1]・梨本 裕司[1,2]・熊谷 明哉[3]・高橋 康史[5,6]・末永 智一[4]・珠玖 仁[1]

Y2057（9：45～11：15）温度応答性・電荷性混合高分子ブラシを用いた再生医療用細胞の温度制御による分離（慶大薬）○若山 暖乃・長瀬 健一・金澤 秀子

Y2058（9：45～11：15）走査トンネル顕微鏡を用いた核酸塩基誘導体の分子配列の観察（東理大理）○君島 彩花・本田 暁紀・野元 邦治・宮村 一夫

Y2059（9：45～11：15）レーザーアブレーションICP質量分析計によるナノ粒子と微量元素の同時イメージング分析（東大院理）○菊地 悠・山下 修司・槇納 好岐・鈴木 敏弘・平田 岳史

Y2060（9：45～11：15）クローズドバイポーラ電極を用いた電気化学発光による細胞呼吸活性の評価（東北大院工）○八重垣 稜佑・伊野 浩介・梨本 裕司・珠玖 仁

Y2061（9：45～11：15）PNAzyme-ペプチド核酸とタンパク質触媒のワンポット固相合成による新規核酸分析試薬の研究（九大院工）○瀬崎 佑介・田邉 潤壱・石松 亮一・中野 幸二

Y2062（9：45～11：15）セリウム固定化マイクロリアクターによるDNA切断条件の検討（東薬大院生命）○高江 祥・熊田 英峰・内田 達也・青木 元秀・梅村 知也

【 P 会 場 】

第1日（9月12日）

P1001（13：00～14：30）フラックス法によるYAG：Ceの合成とその評価（福岡教大[1]・福岡工大[2]）○原田 雅章[1]・呉 行正[2]

P1002（13：00～14：30）蛍光X線分析法によるAuめっき液の簡易・迅速分析（日立ハイテクサイエンス）○深井 隆行・泉山 優樹・土屋 恒治・坂元 秀之・大柿 真毅

P1003（13：00～14：30）X線回折法を用いた混和を伴う阿玉台式土器の指紋鉱物の探索（福岡大理）○市川 慎太郎・崎戸 優弥・栗崎 敏

P1004（13：00～14：30）蛍光X線分析法によるZn-Niめっき液の迅速測定（日立ハイテクサイエンス）○泉山 優樹・深井 隆行・土屋 恒治・坂元 秀之・大柿 真毅

P1005（13：00～14：30）放射光高エネルギー蛍光X線分析を用いた鉄製埋蔵文化財の製作地推定のための新手法の開発（東文研[1]・JASRI/SPring-8[2]）○増渕 麻里耶[1]・辻 成希[2]

P1006（13：00～14：30）ナノグラフェンのバンド構造とπ共役面の歪みの影響－大気中光電子分光法による分析－（都立産技研セ）○藤巻 康人・小汲 佳祐・林 孝星・渡辺 洋人

P1007（13：00～14：30）非破壊X線分析とラマン分光分析による中世～近世絵画における「硫化ヒ素ガラス」黄色顔料に関する研究（東理大理）○赤城 沙紀・平山 愛里・阿部 善也・中井 泉

P1008（13：00～14：30）極低角度入射イオンビームを用いたオージェ深さ方向分析によるFeNi/CoFeB/FeNi薄膜の分析（物材機構）○荻原 俊弥・吉川 英樹

P1009（13：00～14：30）水砕スラグの迅速元素分析に対するEDXRFの有効性（日立ハイテクサイエンス）篠原 圭一郎・辻川 葉奈・深井 隆行・山田 充子・添田 直希・中村 一廣・○坂元 秀之・大柿 真毅

P1010（13：00～14：30）マイクロビームPIXEシステム用粒子状標準物質による重元素分析感度の校正（秋田大教文[1]・量研機構高崎研[2]）○岩田 吉弘[1]・山田 尚人[2]・江夏 昌志[2]・佐藤 隆博[2]・神谷 富裕[2]

P1011（13：00～14：30）X線分析による微生物起源マンガンノジュールのキャラクタリゼーション（国立環境研）○瀬山 春彦

P1012（13：00～14：30）Mn-Feプルシアンブルー類似体のゲル中における沈殿帯の磁場効果とそのX線分光分析（日本女子大理）青木 彩・高石 麻央・佐藤 由衣・○林 久史

P1013（13：00～14：30）Co-Feプルシアンブルー類似体による離散的沈殿帯のX線分光分析（日本女子大理）佐藤 由衣・高石 麻央・青木 彩・○林 久史

P1014（13：00～14：30）福島第一原発事故に伴う非水溶性放射性Cs含有粒子の東日本広域への飛散（東理大[1]・気象研[2]・茨城大[3]・首都大[4]・早稲田大[5]・東大先端研[6]・JMBSC[7]・筑波大[8]・RESTEC[9]・東大[10]）○小野崎 晴佳[1]・石川 真帆[1]・阿部 善也[1]・中井 泉[1]・足立 光司[2]・五十嵐 康人[3]・大浦 泰嗣[4]・海老原 充[4,5]・宮坂 貴文[2,6,7]・中村 尚[6]・末木 啓介[8]・鶴田 治雄[9]・森口 祐一[10]

P1015（13：00～14：30）層状に塗布された赤色系無機顔料のX線分析（龍谷大理工）吉田 亮・高橋 瑞紀・○藤原 学

P1016（13：00～14：30）中性子放射化分析法によるカナダ食品試料の多元素分析（石巻専修大[1]・Dalhousie Univ.[2]）○福島 美智子[1]・Amares Chatt[2]

P1017（13：00～14：30）XバンドEPRイメージングによる悪性黒色腫と母斑に内在するメラニンラジカルの特性化（弘前大院保健[1]・弘前大院医[2]）○中川 公一[1]・皆川 智子[2]・澤村 大輔[2]

P1018（13：00～14：30）唾液硝酸ISFETs用ポリウレタン膜材料の探索研究（阪工大工[1]・産総研・阪大先端フォトバイオ[2]・神戸大院人間発達[3]・阪大院工[4]）○金時 卓哉[1,2]・大﨑 脩仁[2,3]・森内 隆代[1]・脇田 慎一[2,3,4]

P1019（13：00～14：30）金属蒸着ガラス棒センサーの応答機構に関する研究（25）；角形ガラス棒SPRセンサーの径と応答の関係（鹿児島大院理工[1]・鹿児島大工[2]）○満塩 勝[1]・安永 愛萌[2]・肥後 盛秀[1]

P1020（13：00～14：30）金属蒸着ガラス棒センサーの応答機構に関する研究（26）；サファイア棒によるSPRセンサー（鹿児島大院理工[1]・鹿児島大工[2]）○満塩 勝[1]・福永 ひかる[2]・大平 祐貴[2]・肥後 盛秀[1]

P1021（13：00～14：30）ペーパー分析デバイスを用いるアミノ酸の計測（広島市大院情報）○釘宮 章光・藤川 茜・齋藤 徹・香田 次郎・中野 靖久・鷹野 優

P1022（13：00～14：30）次亜塩素酸応答性薄膜の新規作製法検討（北見工大院[1]・北見工大[2]）三谷 裕[1]・○兼清 泰正[1,2]

P1023（13：00～14：30）TG-MSを用いた紫外線照射による高分子劣化の評価（リガク）○細井 宜伸・本村 和子

P1024（13：00～14：30）温度可変X線回折装置の微細物鑑定への応用（神奈川県警科捜研[1]・東工芸大院工[2]）○田代 徹[1]・阪柳 正隆[1]・西部 浩一朗[1]・居郷 孝泰[1]・平岡 一幸[2]

P1025（13：00～14：30）アルキル鎖を導入した色素分子の熱挙動（東理大院理）○肥田野 恵里・村上 莱緒子・吉田 幸史・野元 邦治・宮村 一夫

P1026（13：00～14：30）環境試料ノンターゲット分析のための不活性ガスを用いたソフトイオン化法 - 基礎検討 -（国立環境研）○家田 曜世・橋本 俊次・田邊 潔

P1027（13：00～14：30）トリフェニルアミン系蛍光プローブおける超分子型アニオンセンシング機構（阪教大[1]・阪技術研（森）[2]）○久保埜 公二[1]・日野 隼輔[1]・岸上 剛[1]・柏木 行康[2]・横井 邦彦[1]

P1028（13：00～14：30）クマリンを母骨格とする赤色蛍光団の開発（第一薬大）○増田 寿伸・古賀 和隆・白谷 智宣・城戸 克己・横山 さゆり

P1029（13：00～14：30）O/Wエマルションを用いたカリウムイオンの分析（山口大教育セ）○藤原 勇

P1030（13：00～14：30）金属水銀曝露量評価のための尿標準物質の開発（国水研[1]・いであ[2]・東洋大[3]）○原口 浩一[1]・坂本 峰至[1]・長坂 洋光[2]・内田 圭祐[2]・伊藤 安紀[2]・吉永 淳[3]

P1031（13：00～14：30）漢方処方エキスの残留農薬分析における試料前処理法の検討（クラシエ製薬漢方研）○吉見 嵩志・張 紅燕・小此木 明・高橋 隆二

P1032（13：00～14：30）湿式処理におけるリンの挙動と分離特性（三井金属竹原分析セ[1]・三井金属基礎評価研[2]・産業公害医学研八戸分室[3]・神岡鉱業分析技術セ[4]）○小野 浩[1]・武村 勝則[2]・西谷 大輔[3]・仲表 俊幸[4]

P1033（13：00～14：30）メチル化とシリル化の選択的誘導体化による脂質の脂肪酸組成分析（日本メナード化粧品）○菱川 昌彦・宮脇 維章・八代 洋一・中田 悟

P1034（13：00～14：30）ダイナミックヘッドスペース法における冷却機構を用いたアウトガス捕集効率向上の検討（TRC）○村岡 正義・竹本 紀之・日下田 成・村木 直樹

P1035（13：00～14：30）ファイバーSPME／GC-MS法による口臭成分測定法の開発（就実大薬）○齋藤 啓太・中西 晶子・山本 咲・片岡 洋行

P1036（13：00～14：30）硫化水素共存下におけるリン酸イオンの定量に関する研究（島根大総理[1]・島根大EsReC[2]）○江川 美千子[1]・管原 庄吾[1]・清家 泰[2]

P1037（13：00～14：30）火山岩中の15,16族元素の定量（環境科学研[1]・弘前大理工[2]）折橋 祐二[2]・○高久 雄一[1]

P1038（13：00～14：30）有明海佐賀県海域の底泥中の鉄の状態と有機物のC/N比との関係（県立広島大生命環境[1]・県立広島大院総合学術[2]・佐賀大院工[3]・九州シンクロトロン光研究セ[4]）○西本 潤[1]・竹本 鮎美[2]・仲原 綾香[2]・田端 正明[3]・瀬戸山 寛之[4]

P1039（13：00～14：30）生体有機分子への偏極量子ビーム照射によって発現する光学活性分析の現状（横国大院工[1]・広島大HiSOR[2]・分子研UVSOR[3]・阪大産研[4]・東理大院理[5]）○高橋 淳一[1]・泉 雄大[2]・松尾 光一[2]・藤本 將輝[3]・加藤 政博[3]・入澤 明典[4]・築山 光一[5]・癸生川 陽子[1]・小林 憲正[1]

P1040（13：00～14：30）沿岸海水中の溶存Fe（II）の酸化速度（九大RIセ[1]・福岡教大教育[2]・新潟大理[3]・九州環境管理協会[4]）○吉村 和久[1]・宮崎 義信[2]・松岡 史郎[3]・天日 美薫[4]

P1041（13：00～14：30）ニラの冷凍保存による鮮度の評価について（函館高専）新山 聡之・端川 繭・○清野 晃之

P1042（13：00～14：30）昇温DART- MSおよび溶液NMRを用いた高分子樹脂の異同識別の検討（アサヒグループHD）○鷲田 和人・宮本 靖久・鈴木 康司

P1043（13：00～14：30）LC/MS/MSと安定同位体標識ペプチドを用いたモモアレルゲンタンパク質の定量法（農研機構食品研究部門）○一法師 克成・田中 良美・若木 学・橋本 直人・石川（高野）祐子

P1044（13：00～14：30）LC/MSによるペットボトル飲料中の茶カテキン類の分析（科警研）○吉川 ひとみ・栢 浩一郎

P1045（13：00～14：30）日本酒中フェルラ酸のHPLC分析（東海大理[1]・金井酒造店[2]・中部大応生[3]・富山大理工[4]・近畿大薬[5]・ジーエルサイエンス[6]）○小玉 修嗣[1]・石下 雄介[1]・後藤 宏章[1]・田中 壮平[1]・佐野 博之[2]・山本 敦[3]・會澤 宣一[4]・多賀 淳[5]・寺島 弘之[6]

P1046（13：00～14：30）産地の異なるシーベリーの成分分析（一関高専未来創造）○照井 教文・トゥムールバータル ボロル ウヤンガ

P1047（13：00～14：30）本わさび喫食時におけるレトロネーザルアロマのリアルタイム計測手法の構築（エスビー食品[1]・バイオクロマト[2]・東京家政大[3]）○佐川 岳人[1]・竹井 千香子[2]・吉沢 賢一[2]・中川 有理[1]・佐藤 吉朗[3]

P1048（13：00～14：30）溶媒抽出を用いた食品添加物中の鉛の分析（日立ハイテクサイエンス）○坂元 秀之・添田 直希・夏井 克巳・山本 和子・並木 健二・白崎 俊浩

P1049（13：00～14：30）レーザー支援脱離イオン化質量分析を用いたトマト缶に含まれる環境ホルモンの新規定量分析法の開発（東洋大理工）○Jiawei Xu・Tatsuya Fujino

P1050（13：00～14：30）抗酸化物質の探索を目的とする化学発光イメージング／HPLCシステムの開発と食品への応用（長崎大院医歯薬）○岸川 直哉・永井 海舟・秋武 将俊・黒田 直敬

P1051（13：00～14：30）ショウガ加工品のコラゲナーゼ阻害活性に関する研究（高知大複合領域[1]・高知大教育[2]・東海学院大健康福祉[3]・高知大教育[4]）○蒲生 啓司[1]・牧野 千尋[2]・守川 耕平[3]・西脇 芳典[4]

P1052（13：00～14：30）高静水圧加工技術による食品混合素材抽出エキスの調製に関する検討（新潟薬大薬[1]・新潟薬大応用生命[2]）○田辺 顕子[1]・峯尾 紘平[1]・宇佐美 浩平[1]・小西 徹也[2]

P1053（13：00～14：30）硫化物中の酸素分析法確立（三井金属鉱業基礎評価研）○上田 孝樹・遠藤 哲

P1054（13：00～14：30）アルカリ金属の金属、炭酸塩、および水酸化物の分析（日産アーク）○野呂 純二・上村 芳和・馬場 輝久

P1055（13：00～14：30）窒化ガリウムウェハー中の微量成分分析（物材機構）○川田 哲・岩井 秀夫・伊藤 真二・石戸谷 章・西尾 満章・岩撫 暁生・小出 康夫

P1056（13：00～14：30）β‐シクロデキストリン誘導体による抗菌活性と細菌膜透過性変化との相関性（就実大薬[1]・名工大院工[2]）○加藤 久登[1]・増田 和文[1]・勝 孝[1]・野中 美帆[2]・宮川 淳[2]・山村 初雄[2]

P1057（13：00～14：30）人工固体酵素としての水溶性チアカリックスアレーン鉄（III）錯体を用いる過酸化水素およびグルコースの定量（岡山理大理）元宗 志保・長崎 聖仁・猪口 雅彦・○尾堂 順一

P1058（13：00～14：30）化学兵器用剤に対する市販現場検知資機材の検知性能の比較検討10（科警研）○谷口 宗志・橋本 亮太・大類 保彦・長島 央行・山口 晃巨・岡田 侑己・大塚 麻衣・宮口 一・大森 毅・瀬戸 康雄

P1059（13：00～14：30）皮膚間質液分析のための多孔質マイクロニードルの開発（東北大工）○甲斐 洋行・熊田 裕希・西澤 松彦

P1060（13：00～14：30）キャピラリー電気泳動質量分析法を用いたメトカチノンとその代謝物の光学異性体一斉分離およびヒト肝ミクロソームによる代謝生成量の評価（石川県警科捜研[1]・金沢大院自然[2]・金沢大理工[3]）○村上 貴哉[1,2]・石丸 麗子[1]・岩室 嘉晃[1]・地中 啓[1]・長谷川 浩[3]

P1061（13：00～14：30）蛍光HPLC法による生体内シアン化物イオン・チオシアン酸イオン・セレノシアン酸イオンの一斉分析法に関する基礎的研究（千葉大院薬[1]・東理大薬[2]・千葉大院医[3]）○望月 龍[1]・東 恭平[2]・安部 寛子[3]・岩瀬 博太郎[3]・戸井田 敏彦[1]

P1062（13：00～14：30）新規な酵素融合型scFvを活用する繊維状ファージのサンドイッチELISA（神戸薬大）○大山 浩之・木口 裕貴・森田 いずみ・小林 典裕

P1063（13：00～14：30）ゼータ電位及び磁化率による細胞評価（マイクロテック・ニチオン[1]・カワノラボ[2]）○伊東 康平[1]・藤田 木綿子[1]・森 清香[2]・河野 誠[2]

P1064（13：00～14：30）核酸クロマトグラフィーを用いた大麻草DNA特異的検出系の開発－3領域一斉検出系の性能評価－（科警研[1]・カネカ[2]）○山室 匡史[1]・宮本 重彦[2]・岩田 祐子[1]・瀬川 尋貴[1]・桑山 健次[1]・辻川 健治[1]・金森 達之[1]・井上 博之[1]

P1065（13：00～14：30）交差反応性蛍光ポリマーを用いたパターン認識に基づく培地中タンパク質の識別（産総研）○菅井 祥加・冨田 峻介・石原 紗綾夏・栗田 僚二

P1066（13：00～14：30）揮発性成分用DART-MSによる活性炭の脱臭過程モニタリング（バイオクロマト）○竹井 千香子・吉沢 賢一

P1067（13：00～14：30）産学官共創に向けたよろず相談「分析NEXT」の活動紹介（九州先端研）○吉原 大輔・一丸 恵子・王 胖胖・山本 竜広・山田 淳・川畑 明

P1068（13：00～14：30）グルコースオキシダーゼ酵素反応を利用したポリヘキサメチレンビグアナイドの分析（福井県大生物資源）○植松 宏平・篠崎 淳人・片野 肇

P1069（13：00～14：30）秋田県鹿角市におけるツキノワグマ捕獲個体は実際に人を捕食していたか―安定同位体比分析による食性解析（森林総研[1]・農研機構食品研究部門[2]・東京農大[3]・北海道総研環境科学研究セ[4]・秋田県[5]）○中下 留美子[1]・鈴木 彌生子[2]・飯島 勇人[1]・山崎 晃司[3]・釣賀 一二三[4]・泉山 吉明[5]

P1070（13：00～14：30）加熱式たばこ主流煙のカテコール、ヒドロキノン、クレゾール の分析（国立保健医療科学院[1]・麻布大[2]）○稲葉 洋平[1]・内山 茂久[1]・杉田 和俊[2]・欅田 尚樹[1]

P1071（13：00～14：30）Flocculation-SERS法によるDNA及びRNA塩基の吸着状態の分析（埼玉大院理工[1]・産総研[2]）関 雅子[1]・岡部 浩隆[2]・松田 直樹[2]・○二又 政之[1]

P1072T（13：00～14：30）超純水のインライン供給によるバックグラウンド低減効果（エルガ・ラボウォーター）○黒木 祥文

P1073（13：00～14：30）回折格子型表面プラズモン共鳴励起増強蛍光分光（GC-SPFS）法を用いた生体分子相互作用解析（コニカミノルタ[1]・東大院工[2]）○永江 剛典[1]・長門石 暁[2]・中村 幸登[1]・津本 浩平[2]・彼谷 高敏[1]

P1074T（13：00～14：30）シスメックス(株)において期待されるバイオ診断薬技術センターの分析部門の役割（シスメックス）○一口 毅・佐藤 晴哉

第3日（9月14日）

P3001（9：45～11：15）ICP-MS/MSによるGdマトリクス中の微量Tb,Yb,Lu測定（東レリサーチセ）○伊東 知宏・藤崎 一幸・坂口 晃一・佐藤 信之

P3002（9：45～11：15）シングルパーティクルICP-MSによるナノ材料評価の検討（東レリサーチセ）○土田 英央・坂口 晃一・佐藤 信之

P3003（9：45～11：15）マイクロ波分解容器のブランク制御に関する検討（日本食品分析セ）○御所窪 誠・田村 麻衣・榊原 直樹・川口 寿之・杉本 敏明

P3004（9：45～11：15）使用済燃料から回収した金属パラジウムのLA-ICP-MSによる同位体測定（JAEA[1]・産総研[2]・QST[3]）○浅井 志保[1]・大畑 昌輝[2]・蓬田 匠[1]・佐伯 盛久[3]・大場 弘則[3]・半澤 有希子[1]・堀田 拓摩[1]・北辻 章浩[1]

P3005（9：45～11：15）ICP発光分光分析法におけるイオン化干渉効果の量的評価（東北大工）○古内 有希・茅森 俊介

P3006（9：45～11：15）レーザーアブレーション-ICP-MSを用いたガラスの深さ方向分析（AGC旭硝子先端研）○菅野 直樹・西條 佳孝

P3007（9：45～11：15）黒鉛炉原子吸光分析による放射線被曝マウスの尿中鉄濃度の変動評価（広島大院理[1]・量研放医研[2]）○吉山 諒[1]・飯塚 大輔[2]・岡本 泰明[1]・泉 俊輔[1]

P3008（9：45～11：15）NMR-NIRヘテロ相関解析による非破壊果実糖度検量モデルの構造解明（農研機構）○池羽田 晶文・関山 恭代

P3009（9：45～11：15）トリフェニルメタン系化合物とHf（IV）を用いるHSAの吸光光度法の開発（阪薬大[1]・サエラ薬局[2]・大阪信愛女学院[3]）○池澤 和弥[1]・山口 敬子[1]・藤田 芳一[1,2,3]・松村 人志[1]・島本 史夫[1]

P3010（9：45～11：15）分子認識型カラムを使用したCr含金染料中のCr（Ⅵ）分析方法の開発及びpHの及ぼす影響について（日本化薬）○緒方 秀輔・土屋 耕一

P3011（9：45～11：15）顕微ラマン分光装置における簡易型温度制御システムを用いた熱損傷抑制効果の検証と温度依存性評価への応用（東北大工）○根本 真奈・横山 梨香

P3012（9：45～11：15）レーザーを光源とするつり合い型比色計の開発：地下水中鉄イオンの定量方法の検討（上越教育大）○下村 博志・柳下 岬

P3013（9：45～11：15）パーソナル吸光度計を用いた鉄（II）イオン及び鉄（III）イオンの定量分析（長崎国際大薬）佐藤 未千世・森山 千晶・市橋 結佳・原 絵莉華・中村 沙織・高井 伸彦・○大庭 義史

P3014（9：45～11：15）流動炭素粉末電極を用いた塩化物イオンの実ポテンシャル測定（信州大理）○吉村 まな美・巽 広輔

P3015（9：45～11：15）金電極を用いたトリプルパルスアンペロメトリーによるエンドトキシンの高感度電気化学的検出（カイジョー[1]・信州大院理工[2]・渋谷工業[3]・熊本大院先端科学[4]）倉科 伸之[1]・長嶋 恵里佳[2]・副島 潤一郎[1]・沢田 利春[3]・坂田 眞砂代[4]・○金 継業[2]

P3016（9：45～11：15）水溶性ビタミンのLC-MS/MSによる一斉分析（DHC）○千田 明日菜・深江 拓朗・伊藤 伸郎・山浦 信明・影山 将克

P3017（9：45～11：15）Orbitrapを活用した熱脱着・熱分解直接質量分析（ionRocket DART-MS）による固体サンプルの迅速分析（サーモサイエンティフィック[1]・バイオクロマト[2]・エーエムアール[3]）○武川 泰啓[1]・吉沢 賢一[2]・坂倉 幹始[3]

P3018（9：45～11：15）カルボン酸類の4-*t*-ブチルベンジル誘導体化とGC-MS分析（阪大環境安全セ[1]・阪大院工[2]・天王寺高[3]）○角井 伸次[1,2]・山本 尚[2]・保久 友宏[2]・明日 理湖[3]・鈴木 至[1,2]・芝田 育也[1,2]

P3019（9：45～11：15）薄膜型TiO_2ナノ粒子添加シリカモノリスを用いたSALDI-MS（名工大院工[1]・名工大工[2]）○飯國 良規[1]・野村 徳宏[1]・笠川 恭介[2]・北川 慎也[1]・大谷 肇[1]

P3020（9：45～11：15）コレステロール前駆体のGC-MS一斉定量による柑橘類由来ヘスペレチンの新規コレステロール合成抑制作用（新潟薬大薬）○清水（太田）美穂・不破 史子・大和 進・中川 沙織

P3021（9：45～11：15）反応熱分解GC/MSによるポリイミドの構造解析の最適条件の検討（東レリサーチセ）○森脇 博文・田口 嘉彦・塩路 浩隆

P3022（9：45～11：15）DIP-IA/MSによる製品分析～化粧品効能成分・ビタミンC誘導体～（神戸工試[1]・産総研[2]）○三島 有二[1]・津越 敬寿[2]

P3023（9：45～11：15）DIP-IA/MSによる食品包装材含有成分の網羅的検出（神戸工試[1]・産総研[2]）○三島 有二[1]・津越 敬寿[2]

P3024（9：45～11：15）小型カッティングマシンを使用したペーパー分析デバイスの開発（山陽小野田市立山口東理大[1]・山陽小野田市立山口東理大工[2]）○浅野 比[1]・前田 大志朗[2]・白石 幸英[2]

P3025（9：45～11：15）疎水性色素液体：高速ヘパリン応答マイクロデバイスの開発と血清試料測定への応用（阪府大院工）○西畑 俊輝・水田 巽・末吉 健志・遠藤 達郎・久本 秀明

P3026（9：45～11：15）マイクロ流体ペーパー分析デバイスを用いたジチゾンの変色距離の比較によるZn^{2+}の半定量（徳島大院先端技科[1]・産総研[2]・徳島大院社会産業理工[3]）○岡田 浩輝[1]・渕脇 雄介[2]・水口 仁志[3]・高柳 俊夫[3]

P3027（9：45～11：15）植物由来バイオマスを基体とする固定化酵素カラムを用いる有機化合物定量用FIAシステムの構築（中部大院工）○福王寺 琢也・渡邉 亮・宮内 俊幸

P3028（9：45～11：15）発光ダイオードを光源に用いる吸光度検出器と簡易なフローインジェクション分析装置の開発と環境分析への応用（山梨大院総合研究[1]・山梨大院医工農[2]・岡山大インキュベータ[3]・山梨大教[4]）○鈴木 保任[1]・谷田 紗英[2]・本水 昌二[3]・山根 兵[4]・川久保 進[1]

P3029（9：45～11：15）逆相HPLC-UV法による無機陰イオン分析（富山衛研[1]・東海大理[2]・中部大応生[3]・愛工大工[4]・金沢大環日本海域環境研究セ[5]）○健名 智子[1]・小玉 修嗣[2]・山本 敦[3]・井上 嘉則[4]・早川 和一[5]

P3030（9：45～11：15）フロースプリット機能内蔵バルブを用いた2D-LC（アジレント・テクノロジー）○熊谷 浩樹・林 慶子・澤田 浩和

P3031（9:45～11:15）ハイダイナミックレンジ機能を搭載した蒸発光散乱検出器（ELSD）による人工甘味料の分析（アジレントテクノロジー）○見勢 牧男・熊谷 浩樹

P3032（9:45～11:15）HILIC-MS/MSによる漢方処方エキス中ベルベリンの定量法の開発（クラシエ製薬）○吉田 翔太・小此木 明・高橋 隆二

P3033（9:45～11:15）超高速液体クロマトグラフィーによる漢方処方中のサイコサポニンb_2定量法の開発（クラシエ製薬漢方研）○原井 健司・張 紅燕・小此木 明・高橋 隆二

P3034（9:45～11:15）日米欧三薬局方国際調和案に基づいた分析法の移行（島津製作所分析計測GADC）○尾坂 裕輔・豊田 悠介・河野 慎一

P3035（9:45～11:15）蛍光誘導体化HPLC法による二枚貝中オカダ酸の分析（福岡大薬）○吉田 秀幸・河村 梨那・中山 絵梨奈・古賀 鈴依子・矢野（清川）恵奈・坂口 洋平・山口 政俊・能田 均

P3036（9:45～11:15）シアン化物のフルオラス誘導体化HPLC分析法の開発（福岡大薬）○冨田 陵子・巴山 忠・藤岡 稔大

P3037（9:45～11:15）LC-MS/MSによるマウス網膜中内因性Retinoid類の定量法開発（第一三共RDノバーレ[1]・第一三共[2]）○山口 真優[1]・佐山 絢子[2]・佐復 直純[1]

P3038（9:45～11:15）ハロゲン化フェニル基結合型カラムを用いるHPLCでのヨウ素化アミノ酸の保持挙動（星薬大）○宮下 正弘・輪千 浩史

P3039（9:45～11:15）UHPLCを使用したペプチド・核酸分析における条件検討（野村化学）○堀切 智

P3040（9:45～11:15）HPLCを用いたペプチド分析における移動相添加剤の影響（東ソー）○伊藤 誠治・中田 文弥

P3042（9:45～11:15）草本系バイオマスを基体とした固定化還元剤の開発とその評価（中部大院工）○渡邉 亮・福王寺 琢也・宮内 俊幸

P3043（9:45～11:15）化学分析によるガラス中のスズの価数別定量方法（AGC）○西條 佳孝・鈴木 祐一・秋山 良司

P3044（9:45～11:15）有機・無機複合分離媒体を用いる排水中有機汚染物質の高効率除去（北見工大工[1]・北見工大院工[2]）○齋藤 徹[1]・大岩 真子[2]・土屋 佑太[1]・児玉 康輝[1]・筒井 航太[1]

P3045（9:45～11:15）エマルションフロー法によるウランの抽出とスラッジ除去法の開発（原子力機構）○岡村 浩之・永野 哲志・長縄 弘親

P3046（9:45～11:15）水酸化ランタンへのMo（VI），V（V），W（VI）の吸着挙動とH_2O_2による溶離挙動の解析（阿南高専[1]・徳島大院理工[2]・愛媛大社会連携[3]）○山田 洋平[1]・高柳 俊夫[2]・薮谷 智規[3]

P3047（9:45～11:15）糖存在下で誘起されるアルミニウム13量体生成に関する研究（都城高専[1]・福岡教大[2]）○藤森 崇夫[1]・山本 智恵理[1]・福元 美緒[1]・宮崎 義信[2]

P3048（9:45～11:15）バナジウム（V）オキソ酸と窒素・酸素含有多座配位子の溶液内反応（福岡教大[1]・新潟大理[2]・九大理[3]）○宮崎 義信[1]・甲斐 諒臣[1]・松岡 史郎[2]・吉村 和久[3]

P3049（9:45～11:15）Application of Support Vector Machine to Plastic Identification Based on Raman Spectroscopy in Plastic Recycling（Kindai University）Wilem Musu・○Hirofumi Kawazumi

P3050（9:45～11:15）タンパク質フェリチンによるアニオン性色素包接と液液界面における反応挙動（岡山理大理）○坂江 広基・戸田 裕介・横山 崇

P3051（9:45～11:15）超臨界二酸化炭素/水界面におけるTPPS会合体生成挙動に及ぼす界面活性剤構造の影響（茨城大理）○大橋 朗・遠藤 真輝・山岸 康平・鈴木 智明・金 幸夫

P3052（9:45～11:15）ポリドーパミンを介したナノスケール細孔への簡便な表面機能化法の開拓（医科歯科大・生材研）○堀口 諭吉・合田 達郎・宮原 裕二

P3053（9:45～11:15）北海道に棲息する海洋哺乳類におけるハロゲン化ビピロール類および長鎖ペルフルオロカルボン酸の濃度とその組織別蓄積傾向（第一薬大[1]・徳島文理大香川薬[2]・北医療大薬[3]）○藤井 由希子[1]・加藤 善久[2]・木村 治[3]・遠藤 哲也[3]・原口 浩一[1]

P3054（9:45～11:15）秋期田園地帯におけるダイオキシン類の日間変動－ベイズ型半因子組成モデルを用いた汚染由来解析－（道総研環境研[1]・統計数理研究所[2]）○姉崎 克典[1]・柏木 宣久[2]

P3055（9:45～11:15）DNPHパッシブサンプラー捕集を想定したアセトン共存下でのホルムアルデヒドの分析評価2（労働者健康安全機構・安衛研）○井上 直子・鷹屋 光俊

P3056（9:45～11:15）高分解能GC/MSによる環境中のノニルフェノールの経月変動及び異性体解析（名古屋市環科セ[1]・中部大[2]）○平生 進吾[1,2]・長谷川 瞳[1]・鈴木 茂[2]

P3057（9:45～11:15）マイクロサンプリング-顕微ラマン分光法によるサブミクロンサイズのウラン微粒子の化学状態分析（原子力機構）○蓬田 匠・江坂 文孝・宮本 ユタカ

P3058（9:45 ～ 11:15）Equilibrium constant for the complexation of mixed chelators（GLDA and HIDS）with Sr and geochemically-related elements（Mg, Ca, Ba）in aqueous solution（Kanazawa University[1]・Southern University, Bangladesh[2]・Fukushima University[3]）○ZINNATARA BEGUM[1,2]・Ismail M. M. RAHMAN[3]・Hiroshi HASEGAWA[1]

P3059（9:45 ～ 11:15）Effect of extraction variables for the chelator-assisted washing remediation of strontium and geochemically-related elements from soils（Fukushima University[1]・Kanazawa University[2]・Southern University, Bangladesh[3]・Yamagata University[4]） ○Ismail Md Mofizur Rahman[1]・Zinnat Ara BEGUM[2,3]・Bashir AHMMAD[4]・Hirofumi TSUKADA[1]・Hiroshi HASEGAWA[2]

P3060（9:45～11:15）フェニル誘導体化-ガスクロマトグラフ質量分析法による工場排水中アルキル水銀の簡便・ロバストな分析法（産総研[1]・島津製作所[2]）○重田 香織[1]・田尾 博明[1]・中川 勝博[2]・近藤 友明[2]・中里 哲也[1]

P3061（9:45～11:15）トンネル内環境の変動要因～環境放射線量を主として～（高知県大健栄[1]・中部大応生[2]・北陸大薬[3]・国立科学院生活環境[4]）○小林 淳[1]・武市 友[1]・近森 貴乃[1]・西川 友加里[1]・山手 沙也香[1]・田中 守[2]・池田 啓一[3]・杉山 英男[4]

P3062（9:45～11:15）均一液液抽出（HoLLE）に基づく共存イオンの影響を受けにくいフッ化物イオン定量法の開発（福島高専）○押手 茂克・遠藤 彩香

P3063（9:45～11:15）熱脱着・熱分解DART-MSにおけるKMD解析の活用（バイオクロマト[1]・産総研[2]）○竹井 千香子[1]・吉沢 賢一[1]・佐藤 浩昭[2]

P3064（9:45～11:15）熱脱着・熱分解DART-MSによるフッ素系高分子材料の分析（バイオクロマト）○竹井 千香子・吉沢 賢一

P3065（9:45～11:15）紙の汚染・損傷・印刷が2次元フーリエ変換を用いた紙の異同識別に与える影響（宮城県警科捜研）○佐々岡 沙羅・齋藤 弘一・小野寺 賢・馬場 あすか・渡邉 摩美・立入 直紀

P3066（9:45～11:15）炭素繊維強化ポリアミド樹脂の熱劣化に及ぼす繊維長の影響（豊田中研）○八木 謙一・福本 圭子・岡本 一夫・井上 雅枝

P3067（9:45～11:15）モミ（*Abies firma*）を対象にした宮城県牡鹿半島におけるCs-137のモニタリング（2）（石巻専修大[1]・Dalhousie Univ.[2]）○福島 美智子[1]・松谷 武成[1]・根本 智行[1]・依田 清胤[1]・Amares Chatt[2]

P3068（9:45～11:15）TOF-SIMSによるアルキドメラミン塗膜の耐候劣化分析（東レリサーチセ）○角田 治哉・鮫島 純一郎・熊沢 亮一・川口 佳奈子・徳岡 麻里子

P3069（9:45～11:15）耐衝撃性ポリマーアロイの構造と物性の解析（日産アーク[1]・富山県大工[2]・防衛大応用化[3]）加藤 淳[1]・北野 律子[1]・西岡 麻依子[1]・永田 員也[2]・浅野 敦志[3]・○野呂 純二[1]

P3070（9:45～11:15）欧州RoHS指令対応スクリーニング法の開発－薄層クロマトグラフィ法によるフタル酸エステル定量の検討－（東芝研究開発セ[1]・東芝環境推進室[2]）○佐藤 友香[1]・盛本 さやか[1]・池田 理夫[2]

P3071（9:45～11:15）環境配慮型均一液液抽出法による環境水中の六価クロムの高感度比色法（富山高専[1]・茨城県産業戦略部技術振興局[2]）○横田 優貴[1]・間中 淳[1]・加藤 健[2]

4th Asian Symposium for Analytical Sciences (ASAS)

September 12-13, 2017

Room A106, Tohoku University Kwauchi-kita Campus, Sendai 980-0862, Japan

---

時間割 ASAS(1 日目)、**Sept 12 (Wednesday)**

1300-1340 (40) Plenary Lecture #1: Lehui Lu, Yanlan Liu, Chunhuan Jiang, Yan Chen, and Kelong Ai (State Key Laboratory of Electroanalytical Chemistry, Changchun Institute of Applied Chemistry, Chinese Academy of Sciences, University of Science and Technology of China)

Dopamine-Melanin Nanoparticle for In Vivo Biomedical Applications

1340-1405 Hitoshi Mizuguchi (Department of Applied Chemistry, Graduate School of Science and Technology, Tokushima University)

Highly efficient electrolysis with track-etched microporous membrane electrodes and its applications in flow analysis

1405-1430 Dai Kato (Biomedical Research Institute, National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

Design of sputtered nanocarbon film-based electrodes with extended analyte zones

●1430-1450 (BREAK) 休憩

1450-1530 (40) Plenary Lecture #2: Jin-Ming Lin (Department of Chemistry, Tsinghua University)

Droplet generation for cell analysis on microfluidic and mass Spectrometry

1530-1555 Weifei Zhang[1,2], Daisuke Koga[1], Jin-Ming Lin[2], Katsumi Uchiyama[1]([1] Department of Applied Chemistry, Graduate School of Urban Environmental Science, Tokyo Metropolitan University; [2]Tsinghua University)

Inkjet Printing Based Droplet Generation for Integrated Online Digital Polymerase Chain Reaction

1555-1620 Hiroaki Suzuki (Dept. Precision Mechanics, Faculty of Science and Engineering, Chuo University)

Giant Liposome-based Dynamic Bioreactor

1620-1645 Takehiko Tsukahara, Kaname Saga, and Ki Chul Park (Laboratory for Advanced Nuclear Energy, Tokyo institute of technology)

Development of On-Chip Photonic Crystal Polymer for Radionuclide Sensing

1645-1705 Javier Ramón-Azcón, Xiomara Fernández-Garibay, Ferran Velasco-Mallorquí, Alejandro Hernández, Albert G. Castaño, María A. Ortega (Institute for Bioengineering of Catalonia (IBEC), The Barcelona Institute of Science and Technology)

Diabetes Approach by Multi-Organ-on-a-Chip

時間割 ASAS(2 日目)、**Sept 13 (Thursday)**

930-955 Kosuke Ino, Hitoshi Shiku (Graduate School of Engineering, Tohoku University)

Electrochemical devices for evaluation of three-dimensional cultured cells

955-1020 Hiroshi Shiigi, Dung Q. Nguyen, Xueling Shan, Kengo Ishiki (Graduate School of Engineering, Osaka Prefecture

University)

Nano- and micrometer-sized space for bioanalysis and biosensing

1020-1045 Toshiaki Hattori[1] and Ryo Kato[2] ([1] Department of Electrical & Electronic Information Engineering; [2] Cooperative Research Facility Center,)

Development of Ca^{2+}-releasing electrochemical device

1045-1110 Tomoyuki Yasukawa, Fumio Mizutani, Masato Suzuki (Graduate School of Material Science, University of Hyogo)

Rapid formation of cell arrays and collection of single target cells based on dielectrophoretic manipulation

1110-1150 (40) Plenary Lecture #3: Hsien-Chang Chang (Department of Biomedical Engineering, National Cheng Kung University)

Development of Microfluidic Dielectrophoresis Chips for Rapid Direct Detection of Microorganism